

所員研究活動（二〇二二年四月～二〇二三年三月）

山口英男 古代史料部門 教授

【研究活動】

〔研究テーマ〕 正倉院文書の書類学／日本古代の社会と地方行政機構／牧と駒牽をめぐる諸問題

〔論文〕 畿内近傍の牧と馬寮の馬（広瀬和雄・山中章・吉川真司編『講座畿内の古代学』IV軍事と対外交渉 雄山閣 九月）

〔科学研究費補助金等による研究〕 科学研究費補助金基盤研究(A)「データ繋留型編纂支援・資源化システムと歴史情報データベースの次世代展開」(研究代表者)／受託研究(福岡市史編集委員会)「福岡市域に関する史料の調査及び研究」(研究代表者)／史料編纂所特定共同研究「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究—小川八幡神社大般若経を核として—」

〔所内プロジェクト研究〕 正倉院文書目録／荘園絵図／奈良時代古文書全文データベース／編年史料カードデータベースCHROH／正倉院文書マルチ支援(多元的解析支援) データベースSHOMUS／編年史料(古代) 編纂支援資源化データベースMIDOH(一般公開 一二月)

【所内業務】

〔編纂担当〕 大日本史料第一編／正倉院文書目録／九世紀編年史料

〔成果物〕 『九世紀編年史料(貞観・仁和)』一(二二年三月編纂 一二月データベースMIDOHより公開)／『正倉院文書目録』九 続々修四(二三年三月刊 東京大学出版会)

〔史料探訪・調査〕 和歌山県立博物館「小川八幡神社大般若経の調査・撮影」八／九月・二月・三月／山形県庄内・村山地域の国指定史跡等の巡見 一〇月／宮内庁正倉院事務所「正倉院文書調査」一二月

〔教育〕 大学院人文社会系研究科「律令時代の研究」(正倉院文書演習)

【所・学内行政】

〔学内委員等〕 本郷地区キャンパスサブワーキンググループ委員(二二年三月)

月)／学生スポーツ連絡会会員・同ワーキンググループ委員(副座長)／一般財団法人東京大学運動会理事・企画委員・洋弓部長

【学外活動】

〔学会活動〕 正倉院文書研究会委員・幹事／条里制古代都市研究会評議員／日本歴史学会評議員

〔大学教育〕 法政大学大学院人文科学研究所「日本古代史特殊研究Ⅰ・Ⅱ」

〔社会教育〕 地域の人々が今に守り伝えた奈良・平安時代の古写経—小川八幡神社大般若経の世界—(文京アカデミア講座「東京大学史料編纂所協力講座」)「史料研究の最前線—史料編纂所の共同研究から—」Ⅰ 文京シビックホールアカデミア文京学習室 六月)／和歌山県小川八幡神社大般若経と信濃国佐久郡大坂氏願経(金鶏会連続公開講座 長野県立長野高校金鶏会館

六月)／地域の人々が今に守り伝えた奈良・平安時代の古写経—小川八幡神社大般若経の世界—(秋田スマートカレッジ「東京大学史料編纂所協力講座」)「史料研究の最前線—史料編纂所の共同研究から—」秋田県生涯学習センター講堂 八月)／奈良・平安時代古写経の離合集散—小川八幡神社大般若経の調査から—(文京アカデミア講座「東京大学史料編纂所協力講座」)「史料研究の最前線—史料編纂所の共同研究から—」Ⅱ 文京シビックホールアカデミア文京学習室 一〇月)

〔学外委員等〕 文化庁文化審議会(文化財分科会) 専門委員／文化庁中世城館・近世城郭遺跡等の保存に関する検討会委員／東京都文化財保護審議会委員(副会長)／日野市文化財保護審議会委員(会長)／福岡市史専門委員

新井重行 古代史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 日本古代史(朝廷の儀礼・地方行政)・典籍の書誌学的検討

〔論文〕 「宮内庁書陵部所蔵柳原本『御即位部類』の来歴」『東京大学史料編

纂所研究紀要』三三、二〇二三年三月

〔小論〕『三長記』『陽明文庫講座 図録四』東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―五、二〇二三年二月／『未紹介の造内裏関係史料』『鴨東通信』一一五、二〇二二年九月

〔書評・紹介〕（書評と紹介）明治大学除日書刊行委員会編『明治大学図書館所蔵 三条西家本 除日書』『日本歴史』八九〇、二〇二二年七月

〔口頭報告〕『皇室制度史料』と写本研究』（史料編纂所第二八九回研究発表会、二〇二二年六月三〇日）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「データ駆動型編纂支援・資源化システム構築と歴史情報データベースの次世代展開（研究代表者・山口英男）」研究分担者／基盤研究(B)「格・式研究を踏まえた日本古代社会像の再構築（研究代表者・小倉慈司）」研究分担者／基盤研究(A)「東アジアにおける工匠関連史料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明（研究代表者・海野聡）」研究分担者

〔共同利用・共同拠点〕特定共同研究・古代史料領域「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」／一般共同研究「『中井家文書』を中心とする建築関連史料の高度資源化と活用」（所内担当者）

〔所内プロジェクト〕「正倉院宝物図」／「電子くずし字字典データベース開発」／「本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究」

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第二編之三十三の編纂

〔史料探訪・調査〕小川八幡神社大般若経の調査（五月、七月、八月、三月）／京都御所東山御文庫本の調査（二〇月）／正倉院文書の調査（二一月）／長崎歴史文化博物館所蔵史料の調査（二一月）／元興寺所蔵史料の調査（二二月）／青蓮院所蔵史料の調査（二二月）／仁和寺所蔵史料の調査（三三月）

【所内行政】

研究者集会世話人

【学外活動】

〔教育〕法政大学非常勤講師（四月～九月）

〔学会〕史学会編集委員（六月～）

黒須友里江 古代史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 平安時代の政務・儀式に関する研究

〔論文〕『左経記』諸写本に関する基礎的検討』（『東京大学史料編纂所研究紀要』三三、二〇二三年三月）

〔史料紹介〕「佐藤道生氏所蔵『左経記』断簡」（『古文書研究』九三、六月）

〔校訂・註釈〕『水左記』註釈（治暦元年正月～四月）（『人文研究 大阪公立大学大学院文学研究科紀要』七四、二〇二三年三月、磐下徹・久米舞子・宮川麻紀・堀井佳代子各氏と共著）

〔その他〕「二〇二二年学界回顧 法制史」（『法律時報』九四―一三、二二月、日本法制史・古代を担当）

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「平安時代後期政治構造の史料学的研究」研究代表者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究・古代史料領域「小川八幡大般若経の文化資源化研究」共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第二編之三十三の編纂

〔史料探訪・調査〕宮内庁書陵部所蔵史料の調査（五月）／静嘉堂文庫所蔵史料の調査（五月）／天理大学附属天理図書館所蔵史料の調査（七月）／神宮文庫所蔵史料の調査（七月）／国立国会図書館所蔵史料の調査（八月）／宮内庁正倉院事務所正倉院文書の調査（二一月）

【所・学内行政】

〔所内委員〕共同利用・共同研究拠点小委員会委員

【学外活動】

〔学会活動〕正倉院文書研究会委員・幹事

田島 公 古代史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 日本古典学の文献学的研究(日本目録学)・古代地域史研究・
対外交流史

〔編著書〕

1 新編西尾市史編さん委員会編『新編西尾市史通史編1 原始・古代・中
世』(愛知県西尾市)、全五四一頁、二〇二二年一〇月

2 田島公・海野聡企画・監修『国際研究集会「御所(宮殿)・邸宅造営関係
資料の地脈と新天地(3)」報告集』(東京大学史料編纂所)、全九二頁、二
〇二二年一二月

3 名和修・尾上陽介・田島公企画・監修『陽明文庫講座図録4―陽明文庫資
料からの新発見(3)―』(東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫)、
全三三頁、二〇二二年二月

〔論文・史料紹介〕

1 「第七章 三川・穂・三野・科野・越の地域と社会」吉村武彦・川尻秋
生・松木武彦編『シリーズ 地域の古代日本 東国と信越』(KADOKA
WA、二四一―二八七頁、二〇二二年四月) 査読無(昨年度報告済み)

2 「京」・難波における外交儀礼」広瀬和雄・山中章・吉川真司編『講座
畿内の古代学』第IV巻 雄山閣、一八四―三三五頁、二〇二二年九月 査読無

3 「三川国造の時代」新編西尾市史編さん委員会編『新編西尾市史通史編
1 原始・古代・中世』(愛知県西尾市第四章第一節、一八四―二〇四頁、
二〇二二年一〇月) 査読無

4 共著(永井邦仁と)「三川国」と「波豆評」の成立」前掲書第四章第二
節、二〇五―二二六頁、二〇二二年一〇月 査読無

5 共著(永井邦仁・加藤安信と)「律令国家の成立と参河国波豆郡(播豆
郡)」前掲書第五章第一節二一八―二四六頁、二〇二二年一〇月 査読無

6 共著(渡辺奈穂子・馬場基・松井直樹・金田章裕と)「平安時代前期の参
河国と播豆郡」前掲書第五章第二節二四七―二六四頁、二〇二二年一〇月
査読無

7 共著(渡辺奈穂子・鈴木正貴と)「律令国家の時代」前掲書第五章第三節、
二六五―二七七頁 二〇二二年一〇月 査読無

8 共著(藤田佳希・村瀬貴則と)「院政期の参河国」前掲書第六章第二節、

二九四―三三三頁、二〇二二年一〇月 査読無

9 「長寛二年十二月某日付「野口御牧下司住人等解」(「兵範記」仁安二年夏
巻紙背文書)―「郡寺」と明記された史料―」編著書2、一八―二三頁、二
〇二三年 査読無

〔小文・研究動向〕

1 「(午前の部)平安期の宮殿(大極殿・内裏、大内裏)造営研究の最先
端」趣旨説明(編著書2 一〇頁 二〇二二年一二月)

2 共著(岸泰子と)「連続講座 中井家文書からみる近世内裏造営体制の特
質」の概要と趣旨説明(編著書2、八〇―八二頁 二〇二二年一二月)

3 共著(海野聡と)「第3回「国際研究集会」編集後記」(編著書2、八八―
九〇頁 二〇二二年一二月)

4 「リレーミニエッセー(二七) 刊行開始から約七〇年経過した『信濃史
料』と刊行終了後約三〇年経過した『長野県史』」(飯田市歴史研究所「歴史研
ニュース」No.111、三頁、二〇二二年一二月)

5 「(「)ちら古代・中世史部会です。(」インターネットで『資料編2 古代・
中世』の概観が閲覧可能に!!」(『新編西尾市史だより』第9号、三頁、二〇
二三年三月)

6 「学会短信 宮内庁書陵部図書寮文庫所蔵内匠寮本「中井家文書」等のデ
ジタル画像の Web 公開開始と国際研究集会を始めとする大型科研費等によ
る研究成果前近代の宮殿研究の重要性」(『建築史学』八〇号、一九四―一九
五頁、二〇二三年三月) 査読有

〔講演・報告〕

1 講演「諏訪大社の創祀と善光寺の創建 大祝家旧蔵「神氏系図」・阿蘇神
社所蔵「異本阿蘇氏系図」所引「科野国造氏系図」と中院家旧蔵十巻本「伊
呂波字類抄」所引「善光寺古縁起」―」二〇二二年度前期連続公開講座
【(新) 古典から読み解く歴史学】第二回、二〇二二年五月二八日(土) 於金
鶏会館(長野市)

2 講演(招待)「古代の苑池と政務・儀礼・外交」令和4年度秋季特別展
「宮廷苑池の誕生―飛鳥京苑池から日本庭園へ―」【研究講座】第2回 二〇
二二年一月六日(日) 於奈良県立橿原考古学研究所講堂

3 報告「古代の氏・人名、地名・荘園・地域史、寺院史研究と禁裏・公家文庫研究―陽明文庫所蔵『兵範記』紙背文書を読み解き、「摸作」氏・「摸作郷」と丹波国桑田郡の古代寺院及び「郡寺」論に及ぶ―」二〇二二年第二回早稲田古代史研究会 二〇二二年二月十七日(土) 於早稲田大学戸山キャンパス三四号館三五五教室

4 講演「古代播豆郡八郷の謎に挑む」『新編西尾市史 通史編一 原始・古代・中世』刊行記念講演会、二〇二二年二月十八日(日) 於西尾市文化会館小ホール

5 講演「近衛家伝来史料から読み直す古代の地域史―一五年間の大規模科学研究費の成果の一端―」二〇二二年度後期連続公開講座【新】古典から読み解く歴史学」第七回、二〇二三年一月二十八日(土) 於金鶏会館(長野市)

【共同利用共同研究】

二〇二二年度特定共同研究課題【古代史料領域】「小川八幡神社大般若経の文化資源化研究」(研究代表者：山口英男) 所内研究者／二〇二二年度一般共同研究課題「蒐集デジタル画像を活用した「魚魯愚抄」の情報資源化と除目研究の基盤形成」(研究代表者：志村佳名子) 所内共同研究者／二〇二二年度一般共同研究課題「中井家文書」を中心とする建築関連史料の高度資源化と活用」(研究代表者：海野聡) 所内共同研究者／二〇二二年度一般共同研究課題「愛知県津島市西光寺所蔵地藏菩薩立像(水落地蔵) 胎内納入品の基礎的研究―諸国勧進地藏菩薩印仏を中心に―」(研究代表者：川尻秋生) 所内共同研究者

【科学研究補助金費による研究】

基盤研究(A)「東アジアにおける工匠関連史料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明」(研究代表者：海野聡) 研究分担者

【所・学内業務】

「史料編纂」『陽明文庫本 勘例』下(大日本古記録)の編纂・刊行

「史料調査・探訪等(抄)」陽明文庫・京都御所東山御文庫・奈良県立橿原考古学研究所・宮内庁正倉院事務所

「教育」東京大学大学院人文系研究科・日本古代史演習「平安時代の政治・社会・文化の研究」

【学外活動】

「教育」放送大学大学院文化科学研究科(修士課程)人文学プログラム科目(ラジオ授業科目)「日本史料を読む(21)」第一・三・四・八回(再放送)「研究指導」奈良県立橿原考古学研究所特別指導研究員／飯田市歴史研究所顧問研究員

「文化財行政」奈良県文化財保護審議会委員／奈良県飛鳥京跡活用検討委員会委員

「学会活動」史学研究会(京都大学)・日本古文书学会・日本歴史学会(以上、評議員)／条里制・古代都市研究会／正倉院文書研究会／木簡学会／史学会(東京大学)

「自治体史編纂」新編西尾市史編集委員会委員(古代・中世部会(古代史部会部会長))

「公益活動」公益財団法人陽明文庫理事／一般社団法人長野教育振興会顧問

藤原重雄 古代史料部門 准教授／画像史料解析センター兼任

【研究活動】

研究テーマ 中世文化史・社会史／絵画史料論

「論文」『仁和寺に残る伏見宮関係の目録―永祿年間の三通―』(『古文书研究』九四、二〇二二年一月)

「翻刻・解題」『天理大学附属天理図書館所蔵「春日社行幸記」(弘安九年中臣祐春記)』(『東京大学史料編纂所研究紀要』三三三、二〇二三年三月)

「小論・紹介等」『中世史料の多様性』(論点・日本史学)ミネルヴァ書房、二〇二二年八月／『五大虚空蔵法勤修事 元応三年』(神奈川県立金沢文庫編『法会への招待』二〇二二年一月)／『国立歴史民俗博物館所蔵「聆涛閣集古帖」所収「二条良実似絵写」―列影図の伝来に関連して―』(『史料編纂掛備用写真画像図画類目録』画像の部のデータ公開)(『画像史料解析センター通信』九八、二〇二二年一月)／『国立歴史民俗博物館所蔵「聆涛閣集古帖」所収「小野道風像写」―木村兼葭堂と吉田家―』(『画像史料解析センター通信』九九、二〇二三年一月)／『勘例』紙背文書―「城南寺競馬絵」

に関する四条隆持書状―(名和修・尾上陽介・田島公監修『陽明文庫講座

図録』四、東京大学史料編纂所・陽明文庫、二〇二三年二月／「新刊紹介
下坂守『祇園祭千五十年記念中近世祇園社の研究』」（『史学雑誌』一三二
二、二〇二三年二月）／「高野大師行状絵断簡『二人弟子』」（『国華』一五二
九、二〇二三年三月）／国立歴史民俗博物館編『いにしえが、好きっ！近
世好古図録の文化誌』二〇二三年三月、分担執筆／『史料編纂掛備用写真
画像図画類目録』画像の部・新旧架番号対照表』（UTokyo Repository、二〇
二二年九月、土橋悠矢氏と共同）／『画像史料解析センター通信』九六（二〇
二二年四月）に「文献案内」二件、『同』九七（同七月）・九八・九九に各一件
（口頭報告・講演）「洛中洛外図屏風の祖型を探る―行事画像の理解―」（二
〇二二年度中世文学会春季大会シンポジウム「中世文学と絵画」、慶應義塾
大学三田キャンパス、二〇二二年五月二八日）／『聆涛閣集古帖』と近世好
古家の世界（第四四三回歴史博講演会、国立歴史民俗博物館、二〇二三年三
月一日、三上喜孝・一戸涉両氏と共同）
〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(A)「日本中近世寺社（記録）論の
構築―日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化」（研究代表者・遠
藤基郎）・「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理
情報への応用研究」（同・井上聡）、基盤研究(B)「中世絵師組織の社会的活動
基盤と様式系統の相関―十四世紀の縁起・絵伝を結節点として」（同・高岸
輝）・「勧修寺資料からみた文庫の形成・維持に関する総合的研究―新たな寺
院文化論として―」（同・佐藤愛弓）の研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古記録 勘例』下の出版（二〇二三年三月）／『大日本史
料』第三編之三十一、『日本荘園絵図聚影』 釈文編・中世三の出版準備

〔史料調査・採訪（抄）〕 国立歴史民俗博物館／慶應義塾大学三田メディアセ
ンター・斯道文庫・KoMico／早稲田大学図書館／サントリー美術館／石橋
財団アトリサーチセンター／神奈川県立金沢文庫／京都御所東山御文庫／
仁和寺／青蓮院／聖護院／京都大学総合博物館・附属図書館／大谷大学図書
館・博物館／京都府京都文化博物館／春日大社／元興寺／大阪青山歴史文学
博物館／和歌山県立博物館

〔所内・拠点プロジェクト〕 画像史料解析センタープロジェクト「中近世肖

像画研究」（代表者・「荘園絵図」・「近世都市図解析」・「正倉院宝物図」・「本
所における画像史料の複製集積過程の研究」・「本所所蔵台紙付写真・ガラス
乾板に関する研究」〔金石文拓本史料の整理と公開〕／共同利用・共同研究拠
点の特定共同研究（古代）「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料
学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」（複合）「荘園絵図調査方法
論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する研究」／一般共同研究「愛
知県津島市西光寺所蔵地蔵菩薩立像（水落地蔵）胎内納入品の基礎的研究―
諸国勧進地蔵菩薩印仏を中心に―」

〔学内教育〕 教養学部全学セミナー（Sセメスター）

【学外業務】

京都大学文学部・大学院文学研究科非常勤講師（集中講義「日本史学（特殊
講義）」／国立歴史民俗博物館共同研究員（展示プロジェクト「いにしえ
が、好きっ！―近世好古図録の文化誌―」）

【所・学内行政】

〔所内委員〕 画像史料解析センター運営委員会／図書運営委員会／概算要求対
応ワーキンググループ

小塩 慶 古代史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 古代文化史の研究

〔小論・紹介等〕「新収史料紹介 御産部類記 待賢門院 天治元年」（『東
京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』九八、二〇二二年一〇
月）／「丞相以下官位昇進雑例」（『類聚雑例』巻九中・下抜書）（名和修・
尾上陽介・田島公企画・監修『陽明文庫講座 図録4』東京大学史料編纂
所・公益財団法人陽明文庫、二〇二三年二月）

〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(B)「平安時代の「国風」的文化現
象についての発展的学際研究」（研究代表者・佐藤全敏） 研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕 特定共同研究（古代史料領域）「奈良
平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を
核として―」 共同研究者／一般共同研究「愛知県津島市西光寺所蔵地蔵菩薩

立像（水落地蔵）胎内納入品の基礎的研究―諸国勸進地藏菩薩印仏を中心に―
〔所内担当者、同〕日本史用語グロッサリーの再構築にむけて〕共同研究者
〔所・学内業務〕

〔史料編纂〕『大日本古記録 陽明文庫本 勘例』下の出版／『大日本史料』第三編之三十一の編纂

〔史料調査・探訪〕陽明文庫所蔵史料の調査（二〇二二年七月・九月）／京都御所東山御文庫所蔵史料の調査（同一月）／宮内庁正倉院事務所正倉院文書の調査（同一月）／仁和寺所蔵史料の調査・撮影（二〇二三年三月）／山口県文書館所蔵史料の調査・撮影（同三月）

〔所・学内行政〕
〔所内〕所報・紀要委員

本郷和人 古代史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 中世政治史／中世史料論

〔所・学内業務〕

〔編纂〕『大日本史料第五編之三十七』の編纂

【学外活動】

〔単著〕『日本史のツボ』文藝春秋、二〇二二年六月／『日本史を疑え』文藝春秋、二〇二二年六月／『徳川家康という人（河出新書）』河出書房新社、二〇二二年一〇月／『天下人の日本史―信長、秀吉、家康の知略と戦略（宝島社新書）』宝島社、二〇二二年二月／『最期の日本史（扶桑社BOOKS新書）』扶桑社、二〇二二年二月／『將軍』の日本史（中公新書ラクレ）／中央公論新社、二〇二三年三月／『鎌倉幕府の真実』産経新聞出版、二〇二三年三月／『天下人の軍事革新（祥伝社新書六七四）』祥伝社、二〇二三年三月（共著）『外伝』の日本史 白村江の戦い・蒙古襲来・黒船から現代まで（朝日新書）朝日新聞出版、二〇二三年二月

堀川康史 古代史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 室町幕府地方支配の研究

〔その他〕「室町幕府と全国秩序―中世後期の中央と地方の関係をどのように考えるか―」（上島享ほか編『論点・日本史学』ミネルヴァ書房、二〇二二年）／「紙背文書にみる室町幕府政治史のひとこま」（神奈川県立金沢文庫編『法会への招待―称名寺聖教・金沢文庫文書』から読み解く中世寺院の法会―）神奈川県立金沢文庫、二〇二二年）

〔研究報告〕「The Nanbokucho War and Loyalty in an Age of War: The Struggle and Failure of Kyushu Deputy Imagawa Ryoshun, 1370-95」〔Strong Asymmetries in Social Relations Compared: The Mamluk Sultanate, Medieval Japan and Beyond〕ボン大学・東洋文庫・東京大学史料編纂所共催、二〇二二年一〇月）／「室町幕府支配体制の形成と展開」（歴史学研究会中世史部会、二〇二三年一月・三月）

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究(B)「足利義満期武家政治史の研究―義満の権力確立過程の再検討を中心に―」（研究代表者／基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」（研究分担者）

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「日本史用語グロッサリーの再構築にむけて」（所内担当者）／「愛知県津島市西光寺所蔵地藏菩薩立像（水落地蔵）胎内納入品の基礎的研究―諸国勸進地藏菩薩印仏を中心に―」（共同研究者）／「吉野修験関係史料の調査」（所内担当者）／特定共同研究「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」（共同研究者）

〔所・学内業務〕

〔史料編纂〕『大日本史料』第五編之三十八の編纂

〔史料探訪・調査〕神奈川県立金沢文庫寄託史料の調査・撮影（横浜市、通年）／桜木坊所蔵史料・前坊家史料の調査（奈良県吉野町・大淀町、通年）

〔所・学内行政〕

〔所内〕社会連携・市民講座企画検討小委員会／画像史料解析センター運営委員会／前近代日本史情報国際センター運営委員会

【学外活動】

〔教育〕 明治大学兼任講師

西田友広 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世の警察・検察権と社会構造の研究

〔著書〕『16テーマで知る 鎌倉武士の生活』（岩波書店、二〇二二年八月）

〔解説〕『源頼朝と鎌倉幕府』を読みなおす（読みなおす日本史 上杉和彦）

〔源頼朝と鎌倉幕府〕吉川弘文館、二〇二二年七月）

〔小文〕『徳川家康以前の『吾妻鏡』』（横浜市歴史博物館編『書物学 二〇

追憶のサムライ—中世武士のイメージとリアル』勉強出版、二〇二二年一

月）／『畠山重保の舞草刀と猫又』（同前）

〔報告〕『The Lord-Retainer Relationship of Warriors in Early Medieval Japan』（国際シンポジウム『Strong Asymmetries in Social Relations Compared: The Mamluk Sultanate, Medieval Japan and Beyond』）二〇二二年一

〇月—五日、オンライン）

〔講演〕『鎌倉幕府の治安維持』（横浜市歴史博物館企画展「追憶のサムライ

—横浜・中世武士のイメージとリアル—」展覧会プレ連続講座、二〇二二年

四月二三日、於横浜市歴史博物館）

〔科学研究費助成事業〕

基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立に

よる新たな史料学構築研究」研究代表者

基盤研究(S)「木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究ス

キーム確立による知の展開」(研究代表者 馬場基) 連携研究者／基盤研究

(A)「郷・村名初出データにみる日本中世の民衆社会」(研究代表者 三枝暁

子) 研究分担者／基盤研究(A)「統合史料画像データの生成と駆動方式の確

立による人文科学研究基盤の創出」(研究代表者 山田太造) 連携研究者／

基盤研究(B)「原本史料情報解析」の方法による中世西国武家文書の研究と

展開」(研究代表者 本郷恵子) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第六編の編纂・出版

〔史料採訪〕岩手県下所在中世史料の調査・撮影（二〇二二年五月）／西大寺

文書の調査（二〇二二年一〇月）

〔所内プロジェクトなど〕画像史料解析センタープロジェクト「中近世肖像

画研究プロジェクト」メンバー

【所・学内行政】

〔所内〕史料図書選定委員会委員長／前近代日本史情報国際センター運営委

員会委員／デジタル撮影等に関する課題検討グループメンバー

【学外活動】

〔教育〕東京女子大学非常勤講師

〔委員等〕鳥根県古代文化センター客員研究員（基礎研究）／『日本歴史』編

集委員会委員／日本歴史学会評議員

林 遼 中世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 室町幕府の公家・寺社支配に関する研究

〔論文〕「室町幕府の興福寺統制と南都伝奏」『日本史研究』七一六号／「足

利義持期の武家祈禱と三寶院満濟」『東京大学日本史学研究室紀要』二六

号）

〔研究報告〕「室町期東寺にみる醍醐寺三寶院の政治的位置」(歴史学研究会

日本中世史部会ミニシンポジウム、二三年一月)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第六編之五十一の出版

〔史料採訪〕醍醐寺所蔵史料の調査・撮影（二二年九月）／青蓮院門跡吉水蔵

聖教の調査・撮影（二二年一〇月・二三年二月）／秋田県公文書館所蔵史料

の調査・撮影（二三年三月）

【所・学内行政】

〔所内〕所報紀要委員会委員

前川祐一郎 中世史料部門 准教授

【研究活動】

〔史料編纂〕『大日本史料』第六編の編纂・出版

研究テーマ 中世法の研究

〔書評・紹介〕「二〇二二年の歴史学界―回顧と展望―日本(中世)五 中世後期の社会・経済」(『史学雑誌』一三一編五号、二〇二二年五月)／「書評 松園潤一朗『室町幕府の法概念に関する覚書』」(『法制史研究』七一号、二〇二二年四月)

〔科学研究費補助金による研究〕「公家法・公家家法・寺社法を中心とした中世法制史料の高度研究資源化」(基盤研究(C))の研究代表者

〔所内研究プロジェクト〕 荘園絵図プロジェクト

〔所・学内業務〕

〔史料編纂〕『大日本史料』第七編之三十五の編纂・出版

〔史料探訪〕奈良県奈良市薬師寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年七月)／三重県伊勢市神宮文庫所蔵史料の調査(二〇二二年九月)

〔所・学内行政〕

〔所内〕 図書運営委員会委員(委員長)／広報委員

海上貴彦 中世史料部門 助教

〔研究活動〕

研究テーマ 中世の朝廷・貴族の研究

〔小文〕「藤原頼通―転換期の摂関―」(新古代史の会編『人物で学ぶ日本古代史3 平安時代編』吉川弘文館、二〇二二年一月)

〔研究報告〕「院政・鎌倉期の天皇正妃」(総合女性史学会古代・中世例会、二〇二二年一〇月)

〔講演〕「鎌倉殿の史料論―吾妻鏡―は將軍・御家人の「聖典」なのか?」(聖心女子大学大学院文学研究科史学専攻大学院講演会「鎌倉殿と愉快な仲間たち―將軍と御家人たちの「信仰」―」、二〇二二年一月)

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する研究」所内共同研究者

〔所・学内業務〕

〔史料編纂〕『大日本史料』第七編之三十五の編纂・出版

〔史料探訪・調査〕奈良県奈良市薬師寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年七月)

／三重県伊勢市神宮文庫所蔵史料の原本校正(二〇二二年九月)／京都御所東山御文庫本の調査(二〇二二年一月)／宇佐神宮所蔵絵図ならびに大分県立歴史博物館寄託絵図の調査(二〇二三年一月)

〔所・学内行政〕

〔所内委員〕所員集会世話人／共同利用・共同研究拠点小委員会委員

〔学外活動〕

〔教育〕明星大学非常勤講師／國學院大学非常勤講師

末柄 豊 中世史料部門 教授

〔研究活動〕

研究テーマ 室町時代の政治史・文化史・史料の研究

〔論文〕「今橋家の衰滅」福島和夫・上野学園大学日本音楽史研究所編『歴史学としての日本音楽史研究』和泉書院、七月／「室町殿の兄弟という難問―足利義政・義視兄弟―」『日本歴史』八九六号、一月

〔解説〕「室町・戦国期の天皇・朝廷」岩城卓二ほか編『論点・日本史学』ミネルヴァ書房、八月／『大日本史料』の編纂『第七回東アジア史料研究編纂機関協議会国際学術会議発表資料集』(大韓民国)国史編纂委員会、一月

／「天文七年飛鳥井家蹴鞠記」『近衛植家書状案(香取民部丞宛)―將軍の直臣になった問丸―』『陽明文庫講座 図録四』東京大学史料編纂所・陽明文庫、二月

〔書評・紹介〕「新刊紹介 安田次郎『尋尊』」『史学雑誌』一三一編四号、四月／「新刊紹介 前田育徳会尊経閣文庫編『武家手鑑 付旧武家手鑑』」『史学雑誌』一三一編九号、九月

〔その他〕「あの戦争」『学内広報』一五六一号、八月

〔口頭報告〕「『大日本史料』の編纂」第七回東アジア史料研究編纂機関協議会国際学術会議、オンライン、一月

〔科学研究費による研究〕「筆跡・花押情報の高高度活用研究―収集スキームの錬成と関連歴史情報との統合による―」(基盤研究(A))の研究代表者／「データ繋留型編纂支援」資源化システム構築と歴史情報データベースの次世代

展開」(基盤研究(A)、研究代表者・山口英男)の研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕「国宝菅浦文書と関連史料の伝来形態と料紙に関する研究」(一般共同研究、研究代表者・宇佐見隆之)の所内共同研究者

〔学外プロジェクト研究〕国立歴史民俗博物館共同研究「『広橋家旧蔵記録文書典籍類』を素材とする中世公家の家蔵史料群に関する研究」(研究代表者・家永遼嗣)の共同研究員

【所・学内業務】

〔編纂〕『大日本史料』第八編之四十五の編纂準備

〔史料探訪〕陽明文庫、六月／国立歴史民俗博物館、永青文庫、八月／東本願寺、本因寺、京都橘大学、高野山金剛三昧院、勝尾寺、九月／西大寺、一月／京都御所東山御文庫、一月／滋賀大学経済学部附属史料館、九州国立博物館、三重県立博物館ほか、一月／善通寺、高野山大学図書館、清水寺、二月／金刀比羅宮、三月

〔教育〕文学部非常勤講師(日本史学特殊講義)

【所・学内行政】

〔所内〕予算委員会委員長／技術部運営委員会委員／中世史料部門代表

【学外活動】

〔教育〕法政大学非常勤講師(大学院人文科学研究科日本中世史特殊研究)／学習院大学非常勤講師(大学院人文科学研究科古文書学文献学研究)

〔文化財行政〕文化庁調査員(文化財第一課)

〔学会〕日本歴史学会評議員

川本慎自 中世史料部門／特殊史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世禅宗寺院の研究

〔論文〕「室町仏教と唐物」(『アジア遊学』二七五、二〇二二年一〇月)

〔史料紹介〕「口絵解説『小倉家伝書』のうち『医学書』二冊 南陽之友雲齋書」(『日本歴史』八九二、二〇二二年九月)／「史料紹介 仁和寺所蔵『聞書』」(『東京大学史料編纂所研究成果報告』二〇二二―八 日本中近世寺社〈記録〉論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化)二〇二二―三

年三月)

〔学界動向等〕「二〇二二年の歴史学界―回顧と展望―日本中世七文化」(『史学雑誌』一三一―五、二〇二二年六月)／「文献案内 白川宗源「中世の高安寺について」」(『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』九八、二〇二二年一〇月)

〔口頭報告〕「三国伝記と夢窓国師」(鎌倉禅研究会、於建長寺、二〇二二年五月)

〔講演〕「花押かがみ」と南北朝時代の花押」(采中日文化センター講座「史料編纂所と史料集の編纂―刊行開始二〇周年をむかえて」、二〇二二年七月)

〔科学研究費助成事業による研究〕基盤研究(C)「漢籍書き入れの日本中世史史料としての活用をめぐる研究」(研究代表者 川本慎自)／基盤研究(A)「日本中近世寺社〈記録〉論の構築―日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化」(研究代表者 遠藤基郎) 連携研究者／基盤研究(A)「筆跡・花押情報

の高度利活用研究―収集スキームの錬成と関連歴史情報との統合による」(研究代表者 末柄豊) 研究分担者／基盤研究(B)「中世禅院を拠点に流通した建築の形態・空間・技法に関する学際的・対外交渉史的研究」(研究代表者 東北大学・野村俊一) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第八編之四十五の編纂・出版準備

〔史料探訪〕金仙寺文書の調査・撮影(埼玉県秩父市、二〇二二年四月・六月・八月・一〇月・十二月)／仁和寺史料(御経蔵・書籍函)の調査・撮影(京都市、二〇二二年一月・二〇二三年三月)

〔拠点共同研究〕特定共同研究「賀茂別雷神社文書および同社社司氏人家文書の調査・研究」(研究代表者 金子拓) 所内共同研究者

【所・学内行政】

〔所内〕研究企画委員会副委員長／共同利用・共同研究拠点小委員長／財務企画小委員会／前近代日本史情報国際センター運営委員会／所外史料複製利用条件確認方法検討WG／ハラスメント予防担当者

【学外活動】

〔史料調査〕仁和寺聖教調査(文化庁)

渡邊正男 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 法・制度と権利に関する歴史的研究

〔科学研究費助成事業による研究〕学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)「一四世紀日本における紛争解決過程の変容に関する実証的研究」研究代表者
〔共同利用・共同研究拠点による研究〕「高野山子院伝来資料の分野横断的研究―金剛三昧院・西南院を中心に―」(一般共同研究、研究代表者 坂口太郎〔高野山大学〕) 所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第九編之三十三(二〇二四年三月刊行予定)

〔史料探訪〕東山御文庫所蔵史料の調査(京都市、二〇二二年一月)／三重県下中近世史料の調査・撮影(三重県津市・志摩市、二〇二二年一月)

〔データベース〕「日本古文書ユニオンカタログ」代表／「大日本史料総合データベース」代表／「編年史料集データベース」代表

〔教育〕LAP 南京大学集中講義「Face to face: 対面・表面・仮面」講師

【所・学内行政】

〔所内〕所員集会世話人
〔学内〕教養学部附属教養教育高度化機構国際連携部門LAP (Liberal Arts Program) 執行委員会委員

【学外活動】

〔研究〕学習院大学史料館客員研究員

金子 拓 中世史料部門・前近代日本史情報国際センター 准教授

【研究活動】

研究テーマ 織田信長・豊臣秀吉の時代と史料の研究

〔論文〕「豊国大明神臨時御祭礼記録」と壬辰戦争(川西裕也・中尾道子・木村拓編『壬辰戦争と東アジア』東京大学出版会、二〇二三年三月)
〔史料校訂〕「宣教卿記」天正三年記紙背文書(一)〔遠藤珠紀・宮崎肇氏との共著〕『早稲田大学図書館紀要』七〇、二〇二三年三月／「史料紹介

賀茂別雷神社領関係文書」(遠藤珠紀・志賀節子・高橋敏子氏との共著、『東京大学史料編纂所研究紀要』三三三、二〇二三年三月)

〔その他〕「日記の押収」『月刊BAN』二〇二二年九月号、二〇二二年八月)／「三淵藤英―足利義昭に従った股肱の臣」(天野秀幸編『戦国武将列伝8 畿内編下』戎光祥出版、二〇二三年三月)

〔講演・口頭報告〕「読んだあとの書状の残り方―佐竹文書から―」(国史談話会大会講演、二〇二二年六月)／「賀茂別雷神社氏人の武力と政治権力」(「Strong Asymmetries in Social Relations Compared: The Manluk Sultanate, Medieval Japan and Beyond」(社会関係の非対称性の比較: マムルーク朝と中世日本))東京大学史料編纂所、二〇二二年一月)／「泰巖歴史美術館所蔵文書に見る信長・光秀・勝家・秀吉」(藤枝市郷土博物館特別講演会、藤枝市郷土博物館・文学館、二〇二二年一月)

〔科学研究費補助金による研究〕「神社文書・社家文書の一体把握による中近世賀茂別雷神社の総合的研究」(基盤研究(A)) 研究代表者／「統合史料画像データの生成と駆動方式の確立による人文科学研究基盤の創出」(基盤研究(A)) 研究代表者山田太造) 研究分担者／「戦国軍記・合戦図の史料学的研究」(基盤研究(A)) 研究代表者堀新) 研究分担者
〔共同利用・共同拠点による研究〕特定共同研究・中世史料領域「賀茂別雷神社文書・社家文書の調査・研究」研究代表者

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十編の編纂

〔史料探訪〕賀茂別雷神社所蔵文書の調査・撮影(二〇二二年六月・二〇二三年二月・三月)／秋田県公文書館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年三月)／新発田市立歴史図書館所蔵文書の調査・撮影(同前)

【所内行政】

前近代日本史情報国際センター運営委員／研究企画委員会委員

【学内活動】

〔教育〕文学部・人文社会系研究科文化資源学特殊講義ⅩⅢ担当
〔行政〕予算委員会企画調整分科会委員

【学外活動】

〔研究〕 國學院大学研究開発推進機構共同研究員

〔教育〕 國學院大学大学院文学研究科兼任講師／朝日カルチャーセンター新宿教室講師／中央大学文学部兼任講師／早稲田エクステンションセンター中野校講師

〔学芸〕 日本歴史学会評議員／『日本歴史』編集委員

〔その他〕 賀茂別雷神社史料編纂会編集委員／讀賣新聞読書委員

黒嶋 敏 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世地域・海域社会の研究

〔著書〕『戦国の大敗 古戦場を歩く なぜ、そこは戦場になったのか』、山川出版社、二〇二二年一〇月

〔論文〕「織田信長の二条城普請」『城郭史研究』四一、二〇二二年二月／「前近代の日琉航路覚書」『東京大学史料編纂所研究紀要』三三三、二〇二三年三月

〔その他〕「歴史と場 第五六回 約三八〇年前の辺野古」『歴史学研究月報』七五二、二〇二二年八月／「史料・文献紹介 小野寺淳・平井松午編『国絵図読解事典』」『歴史学研究』一〇二七、二〇二二年一〇月／「本会共催の合評会「復帰五〇年における研究とその地平」歴研特集 日本復帰五〇年琉球・沖縄史研究の到達点」を読む」参加記『歴史学研究月報』七五八、二〇二三年二月

〔学芸報告〕「正保琉球国絵図デジタルアーカイブと倭寇図巻デジタルアーカイブの紹介」(黒嶋敏・須田牧子・中村覚の連名) 第三二回日本資料専門家欧州協会年次大会、二〇二二年九月／「画像史料による港湾の復元的研究」第七回東アジア史料研究編纂機関協議会、二〇二二年一月

〔講演〕「家康公の海洋戦略と「日本国王」徳川みらい学会二〇二二年度第一回講演会、二〇二二年四月

〔科学研究費補助金による研究〕「中世東アジア海域の地域社会と琉球帝国―集落・信仰・技術―」(基盤研究(A)研究代表者村木二郎) 研究分担者／「西遷・北遷東国武士の社会的権力化」(基盤研究(B)研究代表者田中大喜) 研究

分担者

〔その他の寄付金などによる研究の活動〕「前近代の那覇港における航路と聖地」JFE二二世紀財団アジア歴史研究助成(研究代表者)

〔共同利用・共同拠点による研究〕特定共同研究・複合史料領域「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報学の学術資源化に関する研究」(所内共同研究者)／「史料編纂所所蔵明清中国公文書関係史料の比較研究」(所内共同研究者)

〔画像史料解析センタープロジェクト〕琉球諸島図研究プロジェクト(代表者)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十編之三十一の編纂・出版

〔史料採訪・調査〕立正大学図書館古書資料館所蔵史料の調査(二〇二三年二月)／沖縄県立図書館所蔵史料の調査(二〇二三年三月)

【所・学内行政】

〔所内〕技術部運営委員会／研究企画委員会

【所・学内教育】

〔教育〕二〇二二年度Aセメスター学術フロンティア講義「海研究のフロンティアII」第七回担当

【学外活動】

〔教育〕青山学院大学非常勤講師／お茶の水女子大学非常勤講師

〔共同研究〕国立歴史民俗博物館展示委員

〔学会〕歴史学研究会委員

〔その他〕公益財団法人伏見記念財団奨学金選考委員／公益財団法人日本国際問題研究所尖閣資料検討会委員

須田牧子 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世対外関係史の研究

〔研究成果報告書〕『訳注「再渡集」稿』(東京大学史料編纂所研究成果報告書)二〇二二一六、編著、二〇二三年三月)

〔論文〕「多久頭魂神社所蔵高麗版大藏経の渡来年代について」(横内裕人編

『対馬の渡来版経―護り伝える東アジアの至宝』勉誠出版、二〇二二年八月
〔史料紹介〕「史料紹介・綱光公記―宝徳三年四月―六月記」(遠藤珠紀・田中奈保・桃崎有一郎氏と連名、『東京大学史料編纂所研究紀要』三三三号、二〇二三年三月)

〔口頭報告〕「パネルディスカッション 対馬宗家文書の可能性」(対馬博物館開館記念シンポジウム、於対馬市交流センター、二〇二二年四月三〇日)／「正保琉球国絵図デジタルアーカイブと倭寇図巻デジタルアーカイブの紹介」(黒嶋敏・中村寛氏と連名、第三二回日本資料専門家欧州協会年次大会、於ZOOM、二〇二二年九月一六日)

〔その他〕「高野山金剛峯寺所蔵 高麗版大蔵経」(武田科学振興財団所杏雨書屋所蔵 磧砂版大蔵経)(横内裕人編『対馬の渡来版経―護り伝える東アジアの至宝』勉誠出版、二〇二二年八月)／「蔣洲咨文の来歴」(古川祐貴氏と連名、『古文書研究』九四、二〇二二年二月)／「対馬宗家文書の可能性」(佐伯弘次・地主智彦・藤井良昭・荒木和憲氏と連名、『長崎県対馬歴史研究センター所報』三、二〇二三年三月)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(C)「中世後期日明関係の人的基盤の研究―「初渡集」「再渡集」を中心に―」(繰越 研究代表者／基盤研究(A)「分散型大規模大名家史料群の高度学術資源化と地域還元」(研究代表者 鶴田啓) 研究分担者／基盤研究(A)「戦国軍記・合戦図の史料学的研究」(研究代表者 堀新「共立女子大学」) 研究分担者／基盤研究(B)「中世日本往復外交文書の古文書学的研究―明清・朝鮮公文書研究の一環として―」(研究代表者 荒木和憲「九州大学」) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料 第十編之三十一』の編纂
〔共同研究〕一般共同研究「史料編纂所所蔵明清中国公文書関係史料の比較研究」(研究代表者 渡辺美季) 所内担当者／画像史料解析センタープロジェクト「琉球諸島図研究プロジェクト」(研究代表者 黒嶋敏) 共同研究者
〔史料探訪・調査〕園城寺所蔵大蔵経の調査(滋賀県、二〇二二年四月・七月・十一月)／対馬歴史研究センター・九州国立博物館・名護屋城博物館所蔵史料の調査(長崎県・福岡県・佐賀県、二〇二二年七月)／藤井有鄰館・

岐阜県歴史資料館所蔵史料の調査(京都府・岐阜県、二〇二二年九月)／長崎歴史文化博物館所蔵史料の調査撮影(長崎県、二〇二二年十一月)／尊経閣所蔵史料の調査(東京都、二〇二二年二月)／立正大学図書館古書資料館所蔵史料の調査(東京都、二〇二三年二月)／山口県文書館所蔵史料の調査(山口県、二〇二三年三月)

【所・学内行政】

〔所内〕東アジア編纂機関協議会準備小委員会委員／図書選定委員会委員
〔学外活動〕

〔社会教育〕文京アカデミア講座(二〇二二年一〇月一五日)
〔文化財行政〕文化庁調査員(文化財第一課)

村井祐樹 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 室町・戦国大名の研究、中世後期社会の研究
〔編纂〕『大日本史料 第十一編之三十一』の編纂

〔論文〕「管領」就任後の六角定頼」(『紀要』三〇、安土城考古博物館、二〇二三年三月)

〔講演・講座〕「戦国大名六角氏の史料―定期を中心にして―」(二〇二二年安土城考古博物館春季特別展記念講演会、二二年五月)

〔史料探訪〕岩手県盛岡市岩手県立博物館・同市もりおか歴史文化館所蔵・寄託史料の調査・撮影(二二年五月)／滋賀県竜王町中津井文書の調査・撮影(二二年五月)／滋賀県長浜市長浜城歴史博物館寄託、福井県小浜市長源寺所蔵、同市妙楽寺所蔵、同市若狭歴史博物館寄託史料の調査・撮影(二二年六月)／千葉県銚子市円福寺所蔵史料の調査・撮影(二二年六月)／兵庫県朝来市大同寺所蔵、同市大明寺所蔵、同市所蔵、同県加古川市報恩寺所蔵、同県たつの市龍野歴史民俗資料館所蔵・寄託、同県姫路市寄託、同市個人所蔵、同県加西市個人所蔵文書の調査・撮影(二二年六月)／京都府京都市泉涌寺所蔵史料の調査・撮影(二二年六月)／大阪府堺市大阿弥陀経寺所蔵、同市堺市博物館寄託史料の調査・撮影(二二年六月)／香川県宇多津町本妙寺所蔵、同町西光寺所蔵、同県高松市瀬戸内海歴史民俗資料館所蔵・寄託、

同市石清尾八幡神社所蔵、同市高松市歴史資料館寄託史料の調査・撮影（二二年七月）／千葉県佐倉市国立歴史民俗博物館所蔵史料の調査・撮影（二二年八月）／東京都文京区永青文庫所蔵史料の調査・撮影（二二年八月）／京都市本願寺所蔵、同市東本願寺所蔵、同市京都橋大学所蔵史料の調査・撮影（二二年九月）／東京都千代田区個人所蔵史料の調査・撮影（二二年九月）／広島県三原市所蔵・寄託史料、同市仏通寺所蔵史料の調査・撮影（二二年一〇月）／新潟県阿賀野市個人所蔵、同県加茂市所蔵、同県長岡市所蔵史料の調査・撮影（二二年一〇月）／福岡県久留米市寄託、同市高良大社所蔵史料の調査・撮影（二二年一〇月）／岡山県岡山市岡山大学図書館所蔵、同県高梁市個人所蔵、同県真庭市個人所蔵、同県津山市津山郷土博物館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二二年一二月）／長崎県長崎市長崎歴史文化博物館所蔵、同県平戸市松浦史料博物館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二二年一二月）／熊本県益城町所蔵、同県熊本市熊本大学図書館寄託、大分県竹田市竹田市歴史文化館所蔵史料の調査・撮影（二二年一二月）／愛知県名古屋市徳川美術館寄託史料の調査・撮影（二二年一二月）／福岡県太宰府市九州国立博物館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二二年一二月）／広島県呉市個人所蔵史料の調査・撮影（二二年一二月）／東京都町田市太陽コレクショソ蔵史料の調査・撮影（二二年一月）／大分県臼杵市安養寺所蔵、同県佐伯市個人所蔵、同市佐伯市歴史資料館寄託史料の調査・撮影（二二年一月）／東京都千代田区上智大学キリシタン文庫所蔵史料の調査・撮影（二二年一月）／兵庫県加西市個人所蔵、同県神戸河町法楽寺所蔵、同県朝来市赤淵神社所蔵、同市埋蔵文化センター寄託、同県姫路市姫路市城郭研究室寄託史料の調査・撮影（二二年二月）／京都府大山崎町個人所蔵、同府京都市清水寺所蔵史料の調査・撮影（二二年二月）／京都府京都市相国寺瑞春院所蔵、香川県琴平町金刀比羅宮所蔵史料の調査・撮影（二二年一二月）／滋賀県近江八幡市江頭区有、同県高島市所蔵、福井県小浜市妙興寺所蔵、同市妙光寺所蔵、同市若狭歴史博物館寄託、同県敦賀市個人所蔵史料の調査・撮影（二二年三月）／鹿児島県鹿児島市黎明館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二二年三月）／山口県山口市山口県文書館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二二年三月）

〔所内〕史料探訪委員会委員長

〔所外〕歴史文化伝承財団評議員

畑山周平 中世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 中近世移行期大名の研究

〔科学研究費補助金による研究〕「原本史料情報解析」の方法による中世西国武家文書の研究と展開（基盤研究(B)、代表本郷恵子）研究分担者／「薩摩・琉球における境界領域の身分制に関する包括的研究」（基盤研究(C)、代表山田浩世（沖縄県立芸術大学）研究分担者／近世書状史料群の研究と歴史情報資源化（基盤研究(B)、代表松澤克行）研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する研究」所内共同研究者／一般共同研究「明智光秀旧臣山崎家伝来文書の基礎的研究」所内共同研究者／一般共同研究「兵庫県内外所在播磨国人史料の調査・研究」所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十一編之三の編纂

〔史料探訪〕鹿児島県知名町立中央公民館所蔵弓削資料の調査（二二年六月）／熊本県博物館ネットワークセンター所蔵史料、九州文化財研究所所蔵文書の調査・撮影（二二年六月）／宮崎県今山八幡宮所蔵史料の調査（二二年八月）／京都府松尾大社所蔵史料の調査・撮影（二二年九月）／福岡県立花家史料館所蔵史料の調査・撮影（二二年一〇月）／宮崎県都城島津邸所蔵史料の調査・撮影（二二年一月）／熊本県益城町教育委員会所蔵文書、大分県竹田市歴史文化館所蔵文書の調査・撮影（二二年一月）／鹿児島県歴史・美術センター黎明館所蔵史料等の調査・撮影（二二年一二月・二三年三月）／大分県臼杵市所在文書等の調査・撮影（二三年一月）／東京都上智大学キリシタン文庫所蔵文書の調査・撮影（二三年一月）／秋田県公文書館所蔵史料の調査・撮影（二三年三月）／新潟県新発田市立歴史図書館所蔵史料の調査・撮影（二三年三月）

【所・学内行政】

〔所内〕 社会連携・市民講座企画検討小委員会委員／研究企画委員会委員

【学外活動】

〔自治体〕 宮崎県都市・都城島津伝承館審議会委員／宮崎県延岡市・延岡市史編集委員会専門部会（中部部会）委員
〔教育〕 神奈川大学非常勤講師

小宮木代良 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 江戸幕府記録類の研究／近世政治史の研究／近世系譜類の研究
／近世武家儀礼史料の研究／近世初期大名家臣史料群の研究
〔共編著〕『多久家文書の「読みなおし」』（多久家文書研究会編 東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―一、二〇二二年一月）
〔史料解題〕「解題」（多久家文書の「読みなおし」）

〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(C)研究代表小宮木代良「近世大名家臣家史料の共同分析―多久家文書の読み直しを中心として―」 六年度

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』十二編 六十三冊の刊行
〔史料探訪〕 山口県立文書館調査（二〇二三年一月）

〔教育〕 人文社会系研究科で演習「近世前期史料演習」を担当

【所・学内行政】

〔所内〕 所報紀要委員会委員

【学外活動】

〔地方史〕 佐賀県近世史料編纂委員

及川 亘 近世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中近世移行期の研究、公儀普請の研究、南都薬師寺の研究
〔書籍〕 共著（多久家文書研究会編）『多久家文書の「読みなおし」』（東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―一、二〇二二年一月）

〔論文〕「鍋島勝茂の居所と行動について」（多久家文書研究会編『多久家文書の「読みなおし」』東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―一、二〇二二年一月）／「公儀御普請―現場監督する大名―」（『城郭史研究』四一号、二〇二二年二月）

〔口頭発表〕「坊所鍋島家文書」の鍋島直茂・勝茂文書に関する課題―坊所鍋島家文書研究会を始めるにあたって―」（坊所鍋島家文書研究会・スタートアップ研究会、於東京大学史料編纂所、二〇二二年八月）
〔所内研究プロジェクト〕 地震史料プロジェクト

〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(C)「徳川政権による公儀の確立と城郭建設―無年号文書から公儀普請を読み解く―」の研究代表者／基盤研究(C)「近世大名家臣家史料の共同分析―多久家史料の読み直しを中心として―」の研究代表者小宮木代良の研究分担者

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十二編之六十三の編纂・出版

〔史料探訪〕 京都府京都市寂光寺所蔵史料の調査（二〇二二年七月）／奈良県奈良市薬師寺所蔵史料の調査・撮影（二〇二二年七月）／佐伯市歴史資料館所蔵佐伯藩政史料の調査（二〇二二年八月）／佐賀県立図書館所蔵「坊所鍋島家文書」の調査（二〇二二年一月）／山口県文書館における『大日本史料』第十二編之六十三の原本校正（二〇二二年一月）／山口県文書館における地震関係史料（毛利家文庫「浦鞆負日記」）の調査・撮影（二〇二三年三月）

〔所内行政〕 画像史料解析センター運営委員会委員／社会連携・市民講座企画検討小委員会委員／デジタル撮影等に関する課題検討グループ

【学内活動】

〔共同研究〕 東京大学地震火山史料連携研究機構スタッフ（兼任）
〔学内行政〕 東京大学地震火山史料連携研究機構運営委員会委員

【学外活動】

〔教育〕 法政大学大学院人文科学研究科・同文学部兼任講師

石津裕之 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世の神社・門跡・朝廷に関する研究

〔その他〕「書評 林大樹著『天皇近臣と近世の朝廷』」〔歴史学研究〕一〇二二号、二〇二二年五月／多久家文書研究会編『多久家文書の「読み直し」』東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―一、二〇二二年、多久家文書研究会の一員として編集に参加)

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「近世における朝廷中枢による門跡統制の解明」の研究代表者／基盤研究(A)「分散型大規模大名家史料群の高度学術資源化と地域還元」(研究代表者鶴田啓)の研究分担者／基盤研究(A)「神社所蔵文書・社家文書の一体把握による中近世賀茂別雷神社の総合的研究」(研究代表者金子拓)の研究分担者／基盤研究(C)「近世大名家臣家史料の共同分析―多久家史料の読み直しを中心として―」(研究代表者小宮木代良)の研究分担者／基盤研究(C)「中近世移行期の門跡に関する史料学的研究」(研究代表者鶴見大学近藤祐介)の研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究・中世史料領域「賀茂別雷神社文書・社家文書の調査・研究」(研究代表者金子拓)の所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十二編之六十三の編纂・出版

〔史料探訪〕賀茂別雷神社史料の調査・撮影(二〇二二年六月・二〇二三年二月)／青蓮院吉水蔵所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年九月)／立花家史料館所蔵立花文書の調査・撮影(二〇二二年一〇月)／山口県文書館所蔵毛利家文庫の調査・撮影(二〇二三年二月)

【所・学内行政】

〔所内〕史料探訪委員会委員／共同利用・共同研究拠点小委員会委員

【学外活動】

〔教育〕中央大学文学部兼任講師／早稲田大学法学部非常勤講師
〔史料編纂〕賀茂別雷神社史料編纂会編纂委員

山口和夫 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 近世日本史料の研究／近世天皇・院・朝廷と將軍権力の政治史的研究／洛中洛外図屏風の研究／日本史学史

〔共編〕名古屋博物館編『豊臣秀吉文書集』八卷(補遺・年未詳)の編集・出版(吉川弘文館、二〇二三年二月)

〔口頭報告〕「近世越前の奉書紙生産・流通・調達と用途―事例紹介と今後の究明課題」三田村家・大瀧神社歴史資料調査委員会報告、二〇二二年一二月一三日、越前市役所教育委員会会議室

【研究事業・所内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料細川家史料』二十八の出版(二〇二三年三月発行、担当者山口・林晃弘氏)

〔史料探訪〕『大日本近世史料細川家史料』二十八原本校正および公益財団法人永青文庫所蔵、熊本大学附属図書館寄託「細川家史料」の調査・撮影(二〇二二年九月七日―九日、熊本大学附属図書館)

〔画像史料解析センタープロジェクト〕近世都市図解析プロジェクト代表

〔所内行政〕近世史料部門副代表／予算委員会委員／所史資料ワーキンググループ

【学外活動】

〔他機関からの委嘱〕名古屋博物館『豊臣秀吉文書集』編集委員／福井県越前市教育委員会三田村家・大瀧神社歴史資料調査委員

〔研究会主催〕「日本近世史研究とアーカイブズ学二〇二二」呼びかけ人

林 晃弘 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世前期政治史の研究

〔口頭報告〕「近世前期における熊本藩の真宗統制」(第七二回佛教史學會學術大會、二〇二二年一月、於龍谷大学大宮学舎)

〔史料紹介・小文等〕「関ヶ原の戦い 実像編」(堀新・井上泰至編『家康徹底解説―こままでわかった本当の姿―』文学通信、二〇二三年二月)／「音坊頭證日次記」について(『日本中近世寺社(記録)論の構築』グループ編『日本中近世寺社(記録)論の構築―日本の日記文化の多様性の探求とそ

の研究資源化」東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二—八、二〇二三年三月

〔その他〕「文献案内 林温「仁和寺観音堂壁画―近世初期仏教空間の構想―」(『芸術学』二四、三田芸術学会、二〇二二年三月)」「(『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』九八、二〇二二年一月)」「河内将芳著『秀吉没後の豊臣と徳川 京都・東山大仏の変遷からたどる』(『京都市民報』三〇七三三号、二〇二三年三月)

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「日本近世における政教関係の形成と確立」(研究代表者)／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者)／山家浩樹)研究分担者／基盤研究(B)「日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」(研究代表者)／杉本史子)研究分担者／基盤研究(C)「寺院史料の調査と個別的動向の解明に立脚した近世宗教政策像の更新」(研究代表者)／朴澤直秀)研究分担者／基盤研究(A)「日本中近世寺社(記録)論の構築―日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化」(研究代表者)／遠藤基郎)研究協力者

〔東京大学地震研究所との共同研究〕「文献史料による歴史地震に関する情報の収集とデータベースの構築・公開」(代表機関 東京大学史料編纂所)〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究「賀茂別雷神社文書の調査・研究」所内共同研究者／一般共同研究「明智光秀旧臣山崎家伝来文書の基礎的研究」所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料 細川家史料 二十八』の編纂・出版
〔史料探訪〕熊本県宇土市西宗寺所蔵文書の調査(二〇二二年五月)／京都市泉涌寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年六月)／熊本県宇城市熊本県博物館ネットワークセンター所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年六月・二〇二三年二月)／熊本県熊本市九州文化財研究所所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年七月)／奈良市薬師寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年七月)／滋賀県米原市成菩提院史料の調査(二〇二二年七月・一月)／東京都文京区永青文庫所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年八月)／石川県野々市市金沢工業大学

ライブラリーセンター所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年八月)／石川県羽咋市本念寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年八月)／石川県加賀市所蔵「山崎家文書」の調査・撮影(二〇二二年八月)／熊本大学附属図書館寄託永青文庫資料の原本校正・調査・撮影(二〇二二年九月・二月)／神奈川県鎌倉市金子家史料の調査(二〇二二年九月)／富山県黒部市宮崎文庫記念館所蔵史料の調査(二〇二二年九月)／京都市仁和寺史料(御経蔵)の調査・撮影(二〇二二年一月)／宮崎県都城市都城島津邸所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年一月)／熊本県益城町教育委員会所蔵「水野文書」の調査・撮影(二〇二二年一月)／大分県竹田市歴史文化館所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年一月)／愛知県西尾市岩瀬文庫所蔵史料の調査(二〇二三年二月)／秋田県公文書館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年三月)

【所内行政】

研究企画委員会委員／画像史料解析センター運営委員会委員

【学外活動】

〔教育〕慶應義塾大学非常勤講師
〔社会教育〕「近世前期の大名の書状―大日本近世史料 細川家史料」から―(中日文化センター講座「史料編纂所と史料集の編纂」、二〇二二年八月)

鶴田 啓 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 近世対外関係の研究
〔分担執筆〕高等学校日本史探究(清水日探七〇四)、清水書院二〇二三年二月／デジタル指導書高等学校日本史探究(清水日探七〇四)、清水書院二〇二三年三月

〔学会報告〕「朝鮮王朝実録」からみる一五九六年の日本遣使」一〇月一五日、朝鮮史研究会大会(明治学院大学白金キャンパス)

〔科学研究費等による研究〕科学研究費基盤(A)分散型大名家史料群の高度学術資源化と地域還元、研究代表者、二〇一九年度〜二〇二二年度／科学研究費基盤(B)日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会

連携を通じて(研究代表者・杉本史子)、研究分担者

〔所内プロジェクト〕摺物データベースグループ、錦絵データベースグループ

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『市中取縮類集』の研究と編纂

〔授業〕(人文社会学系大学院・文学部)文化資源学特殊講義、S1S2チーム

【所・学内行政】

〔所内委員会等〕東アジア編纂機関協議会準備小委員会委員長/技術部運営委員会委員長

松澤克行 近世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 近世の公家社会と文化に関する研究/近世史料の研究

〔論文〕「徳川家康と天皇」(掘新・井上泰至編『家康徹底解説 ここまでわかった本当の姿』文学通信、令和五年二月)

〔講演〕「勘返状の世界」(陽明文庫講座「陽明文庫資料からの新発見Ⅱ」、令和四年五月一日、於京都府立京都学・歴史館)

〔新聞記事〕「公家文化 陽明文庫が伝える」(令和四年七月一日発行『京都新聞』朝刊「ソフィア 京都新聞文化会議」欄)

〔科学研究費補助金による研究〕「近世書状史料群の研究と歴史情報資源化」(基盤研究(B)、初年度)の代表者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八』の出版準備/『大日本近世史料 広橋兼胤公武御用日記』十五の出版準備

〔史料探訪〕龍臥山法雲院所蔵「烏丸家肖像画」の調査(京都市、一月二日~二日) / 公益財団法人陽明文庫所蔵「近衛文書」の調査・撮影(京都市、令和五年三月一日~二日)

〔所内プロジェクト〕画像史料解析センター「歴史絵引データベース・肖像画模本データベース構築プロジェクト」メンバー / 画像史料解析センター「電子くずし字字典データベース開発プロジェクト」メンバー / 「原本史料情報

解析」の方法による南九州関係文書の保全と研究プロジェクト」メンバー

【所・学内行政】

〔所内行政〕画像史料解析センター運営委員長/前近代日本史情報国際センター運営委員/概算要求対応ワーキンググループ委員

【学外活動】

〔学会活動〕日本歴史学会理事・同評議員・『日本歴史』編集委員/歴史人類学会評議員/筑波大学日本史談話会評議員

〔教育〕中学校社会科教科書『新しい社会』編集委員(東京書籍株式会社)〔社会教育〕公益財団法人徳川記念財団非常勤研究員(古文書講座講師)

山本一夫 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世米穀流通史の研究

〔論文〕「近世瀬戸内の米穀投機取引と城下町―美作国津山を中心に―」(『社会経済史学』八八(二)、二〇二二年八月) / 「萩藩の越荷方と地域経済」(『ヒストリア』二九三、二〇二二年八月) / 「米切手による年貢代納―萩藩を事例に―」(『東京大学史料編纂所研究紀要』三三、二〇二三年三月)

〔口頭報告〕「鳥取藩の米切手と地域経済―米切手による年貢代納に注目して―」(歴史学研究会日本近世史部会一月例会、二〇二二年一月)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(B)「近世書状史料群の研究と歴史情報資源化」(研究代表者松澤克行) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八』の出版準備/〔史料探訪〕都城島津邸所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年一月) / 公益財団法人陽明文庫所蔵「近衛文書」の調査・撮影(二〇二三年三月)

【所・学内行政】史料探訪委員会委員/史料・図書選定委員会委員

【学外活動】

〔学会活動〕歴史学研究会日本近世史部会運営委員

杉本史子 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 近世国家・社会の研究、絵図史料論

〔著書〕『絵図の史学：「国土」・海洋認識と近世社会』（名古屋大学出版会、二〇二二年、四四〇頁）

〔書評〕「書評と紹介米家志乃布著『近世蝦夷地の地域情報：日本北方地図史再考』（『日本歴史』八九七、二〇二三年、九八―一〇〇頁）

〔科学研究費補助金等〕公開促進費（学術図書、研究課題名：「絵図の史学―「国土」・海洋認識と近世社会」（課題番号 21HP5062、新型コロナ事由により二〇二二年度に繰り越し）の研究代表者 基盤研究(B)「日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」（課題番号：22H00692）の研究代表者／基盤研究(C)「中近世日本の法的世界を問い直す―裁判史・政治史・経済史の対話」（課題／領域番号 22K01120、研究代表者：松園潤一朗）の研究分担者

【所内業務】

〔所内〕所報紀要委員会委員長

〔史料編纂〕『大日本維新史料 類纂之部』新書目出版準備、近世史編纂支援データベースのデータ拡充・整備

【学内業務】

〔委員会等〕東京大学海洋アライアンス連携研究機構・推進委員

【学外活動】

〔研究員等〕東洋文庫兼任研究員

〔委員会等〕文化庁文化審議会専門委員（文化財分科会）、小田原市城跡調査・整備委員会委員

〔地方史〕山口県史編さん調査委員

箱石 大 近世史料部門／前近代日本史情報国際センター兼任 教授

【研究活動】

研究テーマ 幕末維新政治史の研究／幕末維新史料の研究／幕末維新史料編纂事業史の研究

〔論文〕「明治太政官文書の史料学的研究―現状と課題―」（『中央史学』第四

六号、二〇二三年三月）／「維新期明治太政官文書の史料学」（『東京大学史料編纂所研究成果報告』二〇二二―七 明治太政官文書を対象とした分散所在史料群の復元的考察に基づく幕末維新史料学の構築 JSPS 科研費（課題番号 一九H〇一三〇三）研究成果報告書（二〇二三年三月）

〔成果紹介〕「海の見える杜美術館所蔵「岩倉具視関係史料」画像のウェブ公開」（『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』第九九号、二〇二三年一月）

〔研究報告〕「明治太政官文書の史料学的研究―現状と課題―」（第四七回中央史学会大会シンポジウム「近代政治史研究の現在―明治太政官制研究から―」、オンライン開催、二〇二二年七月二日）／「研究概要説明」（JSPS 科研費（21H01303）公開研究会「明治太政官文書の史料学」、オンライン開催、二〇二三年一月二八日）

〔イベント発表〕「OCRテキスト横断検索システムへの期待と今後の幕末維新史料研究」（国立国会図書館・NDLデジタルライブラリーカフェ「NDL OCRを使ってみた―全文テキスト活用のススメ―」、オンライン開催、二〇二三年一月一八日）

〔科学研究費等による研究〕基盤研究(B)「明治太政官文書を対象とした分散所在史料群の復元的考察に基づく幕末維新史料学の構築」の研究代表者／基盤研究(A)「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」（研究代表者：保谷徹）・基盤研究(B)「維新政権期の木版刊行物に関する学際的研究およびオープンサイエンスの推進」（研究代表者：藤實久美子、国文学研究資料館教授）・基盤研究(C)「高精細デジタル画像解析による幕末明治初期ガラス原板写真の史料学研究」（研究代表者：谷昭佳）の研究分担者／基盤研究(B)「中世・近世における在地文書の変遷と文書群の構造的変容に関する研究」（研究代表者：坂田聡、中央大学教授）の研究協力者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究「史料編纂所所蔵維新関係貴重史料の研究資源化」

〔所内研究プロジェクト等〕画像史料解析センター・戊辰戦争期摺物画像研究プロジェクト・古写真研究プロジェクト／古写真データベース／維新史料

研究国際ハブ拠点形成プロジェクト

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 幕末外国関係文書之五十四』の出版／『大日本維新史料 類纂之部 井伊家史料』近世史編纂支援データベース索引型データの修正・補充準備作業／『大日本維新史料 類纂之部』後継出版物の編纂〔史料採訪〕海の見える杜美術館所蔵古写真の調査・撮影（二〇二二年八月二四日～二七日・二〇二三年三月一四日～一七日）／三田村家・大瀧神社歴史資料（福井県越前市）の調査（二〇二二年八月三〇日～三十一日・二月一日～三日・二〇二三年三月二八日～二九日）／海の見える杜美術館所蔵岩倉具視関係史料の調査・撮影（二〇二二年二月七日～一〇日）／山口県文書館所蔵長州（山口）藩版板木・木活字の調査（二〇二三年二月二八日～三月二日）

【所・学内行政】

〔所内〕情報処理主幹／前近代日本史情報国際センター運営委員会委員長／情報支援室／電子計算機緊急対応チーム（サート）／情報セキュリティ委員会委員／情報安全区域管理委員会委員長／情報倫理審査会主査／ホームページ委員会委員／防災委員会委員／デジタル撮影等に関する課題検討グループ／人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業運営委員会委員／予算委員会委員／研究企画委員会委員／財務企画小委員会委員／史料編纂所協議会委員／東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会委員／所史資料調査ワーキンググループ

〔学内〕情報基盤センター運営委員会委員／部局CERT責任者連絡協議会

【学外活動】

〔教育〕國學院大学大学院文学研究科兼任講師（日本近現代史特論A1（講義）・前期）
〔社会教育〕栄中日文化センター講座講師（「明治維新と修史事業―明治太政官文書研究からみた近代日本史学史―」、東京大学史料編纂所協力講座「史料編纂所と史料集の編纂―刊行開始一二〇周年をむかえて―」、於…栄中日文化センター、二〇二二年四月一六日）／文京アカデミア講座講師（「明治太政官文書研究と維新政治史」、東京大学史料編纂所協力講座「史料研究の最

前線―史料編纂所の共同研究から―」、於…アカデミア文京、二〇二二年六月四日・十一月五日）／あきたスマートカレッジ講座講師（「明治太政官文書研究と維新政治史」、東京大学史料編纂所協力講座「史料研究の最前線―史料編纂所の共同研究から―」、オンライン開催、二〇二二年九月一〇日）
〔文化財行政・調査〕久喜市文化財保護審議委員（埼玉県）／三田村家・大瀧神社歴史資料調査委員（福井県越前市）
〔学会活動〕日本歴史学会評議員／国史学会評議員

小野 将 近世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 近世・幕末維新期の政治・文化・思想史

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A) 在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成（研究代表者保谷徹名誉教授）研究分担者／基盤研究(B) 幕末外交と贈答美術品―遣米・遣欧使節団の贈品を中心に（研究代表者国立歴史民俗博物館教授日高薫）研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究・近世史料領域研究課題「史料編纂所所蔵維新関係貴重史料の研究資源化」研究代表者

〔学会報告ほか〕「いくばくかの差異と、いくばくかの類似 日本近世史研究の立場から―中澤達哉編『王のいる共和政』へのコメント」（早稲田大学ナショナルリズム・エスニシティ研究所第一四回研究会「日本史学と西洋史学の対話―『王のいる共和政』をめぐる』報告、オンライン開催、一〇月）／コメント（同研究所第三回若手研究者発表会、増田友哉報告へのコメント、オンライン開催、二三年二月）

〔国際研究集会〕維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト「維新史料研究と国際発信」（二月、共催…史料編纂所、JSPS人文学・社会科学データインフラストラクチャ―構築推進事業、科学研究費補助金基盤研究A「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」）

〔研究集会〕共同利用共同研究拠点一般共同研究「ボサドニック号事件関係

史料の研究」研究集会、コメント（一二月）

【所・学内業務】

〔史料編纂・出版〕『大日本古文書 幕末外国関係文書』巻之五十四の出版

〔所内プロジェクト等〕維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト担当／

〔維新史料綱要データベース〕担当

〔教育〕大学院人文社会系研究科（日本史学演習担当）

【学外活動】

〔委員委嘱〕日本学士院国際学十院連合関係事業特別委員会委員

〔共同研究〕人間文化研究機構基幹研究プロジェクト連携研究員・国立歴史民俗博物館共同研究員

〔学会活動〕歴史学研究会会計監査

水上たかね 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 幕末維新期の軍事と中央政権・武士身分に関する研究

〔論文〕「明治二年の軍務官再編―本部・出張所体制と会計・艦船―」（『日本史研究』七一八号、二〇二二年六月）

〔口頭報告〕「江戸幕府の幕末軍制改革―人材登用の光と影―」（シーボルト

会、蘭塾 RAN Education ライデン本校（オランダ）、オンライン配信併

用、二〇二二年四月一七日）

〔各種研究助成による研究〕令和元年度若手研究者自立支援制度（東京大学

卓越研究員）「軍事を視角とした幕末維新期日本の国家体制変革過程に関す

る研究」／科学研究費助成事業・科学研究費補助金・基盤研究(B)「明治太政

官文書を対象とした分散所在史料群の復元的考察に基づく幕末維新史料学の

構築」（研究代表者：箱石大）研究分担者／同基盤研究(A)「在外日本関係史

料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」

（研究代表者：保谷徹）研究分担者／若手研究者の国際展開事業・国際研鑽

事業（東京大学）

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 幕末外国関係文書之五十四』の出版

〔所内研究プロジェクト〕「維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト」メンバー

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究（近世史料領域）「史料

編纂所所蔵維新関係貴重史料の研究資源化」所内共同研究者

〔海外出張〕第三二回日本資料専門家欧州協会（E.A.J.R.S.）年次大会（会

場：Centro Científico e Cultural de Macau、リスボン、ポルトガル）現地

参加および機関ブリス・機関ワークショップにおける広報・交流活動（二〇

二二年九月一五日～一八日）

【研修】

〔在外研修〕ライデン大学地域研究所 Leiden University Institute for Area

Studies 客員研究員（オランダ、二〇二二年一月二日～二〇二三年三月末段

階継続中、受入研究者：Ivo Smits 教授、研究課題：The role of the Neth-

erlands in reforming the government system in Japan from the end of the

Edo period through the Meiji Restoration（幕末維新期日本の統治機構改革

におけるオランダの役割）

立石 了 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世大名家臣団の研究

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 幕末外国関係文書』巻之五十四の編纂

〔所内プロジェクト等〕「維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト」メン

バー

【所内行政】 社会連携・市民講座企画検討小委員会

榎原雅治 中世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 中世後期社会の研究、前近代地震史料の研究

〔論文〕“Development of Farmland in a Lagoon and Damage Caused by

Storm Surge in 17th Century Japan” (Journal of Disaster Research, 17, 2022)

〔史料紹介〕「イェール大学バイネキ図書館所蔵「神護寺領丹波国吉富庄年貢散用状」(『東京大学史料編纂所研究紀要』三三、二〇二三年三月)

〔講演・口頭報告〕「弘化元年五月・六月の被害地震について」(水野嶺・加納靖之との共同報告、歴史地震研究会高槻大会、二〇二二年九月一八日、関西大学高槻ミュージアムキャンパス)／「荘官家伝来の文書群から見える中世社会」(シンポジウム「中世地下文書論は何を明らかにしたか」、中世地下文書研究会、二〇二二年一〇月二二日、立教大学)／「宇喜多以前の岡山―高原を駆けた武士たち」(山陽新聞社講演会、二〇二二年一〇月二三日、山陽新聞社さん太ホール)／「古代・中世の富士噴火と関東の地震」(東京大学史料編纂所特別公開講座「歴史のなかの災害―史料から読み解く」、二〇二二年一一月一九日、文京区シビックセンター)／「中世の村と現在」(姫路市埋蔵文化財センター)講演会、二〇二二年一二月四日、姫路市埋蔵文化財センター)／「地震火山噴火予知研究協議会史料・考古部会二〇二二年度成果報告」(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画令和四年度シンポジウム、主催地震火山噴火予知研究協議会、二〇二三年三月六日、東京大学武田先端知ホール)／「室町期の国領の名家について」(所内研究発表会、二〇二三年三月三〇日)

〔科学研究補助金による研究〕基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」(研究代表者・井上聡)研究分担者／基盤研究(B)「日本中世「地下文書」論の構築―伝来・様式・機能の分析を軸に―」(研究代表者・熊本大学教育学部春田直紀)研究分担者／基盤研究(B)「中世・近世在地文書の様式・機能の変遷と中世文書群の構造の変容に関する研究」(研究代表者・中央大学文学部坂田聡)研究協力者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「吉野修験関係史料の調査」／特定共同研究・複合領域「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する研究」

〔所内プロジェクト〕画像史料解析センター「荘園絵図プロジェクト」地震史料プロジェクト

〔その他〕国立歴史民俗博物館共同研究「広橋家旧蔵記録文書典籍類」を素材とする中世公家の家蔵史料群に関する研究(研究代表者・学習院大学文学部家永遵嗣)共同研究員

【所・学内業務】
〔史料編纂〕「日本荘園絵図聚影積文編四中世三」の刊行準備／「大日本史料七編之三十五」の刊行

〔史料採訪・調査〕薬師寺所蔵史料の調査(奈良市、七月)／桜本坊所蔵大般若経・前坊家文書の調査(奈良県吉野町・大淀町、七月・十二月)／佐伯市歴史資料館所蔵「佐伯藩家老日記」(天保十四・嘉永五)、「佐伯藩郡方日記」(文政十三・弘化二)の調査・撮影(大分県佐伯市、九月)／神宮文庫所蔵「道後政所職事」「応永外宮御神宝読合」の調査(三重県伊勢市・九月)／宇佐神宮所蔵「宇佐宮境内絵図」の調査・大分県立歴史博物館寄託「野仲郷絵図」の調査(大分県宇佐市、一月)／熊本県博物館ネットワークセンター所蔵高森町「瀬井家資料」の撮影・調書(二月)／山口県立文書館所蔵「中島市郎兵衛日記」「浦日記」の調査・撮影(三月)

〔教育〕大学院人文社会系研究科(日本史学演習、日本文化研究演習)／教養学部前期課程(学術フロンティア講義「歴史資料と地震・火山噴火」)

【学・所内行政】
〔学内〕地震火山史料連携研究機構長／地震研究所地震火山噴火予知研究協議会委員／同史料・考古部会部会長

【学外活動】
〔学外行政〕科学技術・学術審議会測地学分科会臨時委員
〔学会活動〕財団法人史学会評議員
〔教育〕国学院大学大学院文学研究科非常勤講師／中央大学大学院文学研究科兼任講師

〔その他〕東京大学出版会評議員／鳥取県災害アーカイブズ事業にかかる検討会議委員(座長)

高橋慎一郎 古文書・古記録部門／画像史料解析センター 教授
【研究活動】

〔研究テーマ〕中世の都市と寺院に関する研究

〔著書〕『幻想の都 鎌倉 都市としての歴史をたどる』（光文社新書、二〇二二年五月）

〔論文〕「鶴岡八幡宮の本地仏」（『鎌倉』一三一・一三二合併号、二〇二二年七月）／「中世の都市 その特質と実態をどのように描くのか」（『岩城卓二他編』論点・日本史学）ミネルヴァ書房、二〇二二年八月）／「京の武士・鎌倉の武士」（『書物学』二〇巻、二〇二二年一〇月）

〔講演〕「鎌倉武士と京・鎌倉」（横浜市歴史博物館展覧会プレ連続講座③、二〇二二年六月）／「大江広元の事績」（西村山地域史研究会、二〇二二年一〇月）／「武家の都・鎌倉の実像」（名古屋・栄中日文化センター、二〇二二年一月）／「武士の都鎌倉の歴史」（鎌倉市医師会創立一三〇周年記念講演会、二〇二二年一月）／「都市平泉の景観について―堀・土塁・道路―」（都市史学会大会シンポジウムコメント、二〇二二年一月）／「武士の都鎌倉の歴史」（第五六回日本臨床腎移植学会、二〇二三年二月）

〔新刊紹介〕文献案内「安里進・外間政明編著『古地図で楽しむ百里・那覇』（『東京大学史料編纂所画像史料解析センター通信』九八号、二〇二二年一〇月）

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「高野山子院伝来資料の分野横断的研究―金剛山三昧院・西南院を中心に―」共同研究者

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「日本中近世寺社（記録）論の構築―日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化」（代表遠藤基郎）研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 醍醐寺文書之十八』の編纂

〔史料探訪〕東寺百合文書の原本校正（二〇二二年六月）／金子家史料の調査・撮影（二〇二二年九月）／醍醐寺所蔵史料の調査・撮影（二〇二二年九月）／西大寺文書の調査（二〇二二年一〇月）／醍醐寺文書の原本校正（二〇二二年一月）／鹿児島県下寺院関係史料の調査・撮影（二〇二二年一月）／東大寺文書の原本校正（二〇二三年二月）

〔プロジェクト研究〕『荘園絵図聚影』釈文編・中世出版プロジェクト／金石

文拓本史料の整理と公開プロジェクト

【所・学内行政】

〔所内〕画像史料解析センター長／画像史料解析センター運営委員会委員／前近代日本史情報国際センター運営委員会委員／研究企画委員会委員／予算委員会委員／財務企画小委員会委員

【学内】総合研究博物館協議会委員

【学外活動】

〔学会活動〕都市史学会常任委員・編集委員長・企画委員／中世学研究会世話人／日本歴史学会評議員

〔文化財行政〕文化庁文化財部調査員／鎌倉市文化財専門委員会会長／鎌倉市史跡等整備アドバイザー会議委員／鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会委員長

〔教科書執筆〕東京書籍令和七年版中学校社会科教科書「新しい社会」編集委員

〔教育〕大東文化大学文学部非常勤講師／学習院大学文学部非常勤講師

遠藤基郎 古文書・古記録部門 教授（情報学環流動教員）

【研究活動】

研究テーマ 中世前期公家政権の政治史／東大寺史料の史料学的研究

〔編著〕『東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―八 日本中近世寺社（記録）論の構築―日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』、三月

〔論文〕「中世後期東大寺」記録「日記」序論（『東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―八 日本中近世寺社（記録）論の構築―日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』、三月）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)日本中近世寺社（記録）論の構築（代表遠藤基郎）／基盤研究(B)東大寺を中心とする南都の未整理文書聖教の復元的調査研究（代表奈良文化財研究所吉川聡）

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書家わけ第十八 東大寺文書之二十五』の編纂

〔史料探訪など〕東大寺記録・文書の調査（以下「調査」省略）（五月、一〇

月、二〇二三年三月) / 奈良大学附属図書館所蔵近世東大寺関係資料(七月)

九州国立博物館所蔵東大寺・興福寺文書(八月) / 小川八幡宮大般若経(二〇二三年三月) / 金沢市立玉川図書館所蔵近世東大寺関係資料(三月) / 帝塚山大学附属図書館所蔵南都関係資料(三月)

〔データベース〕日本古文書ユニオンカタログ / 古文書フルテキスト / 鎌倉遺文フルテキスト / 平安遺文フルテキスト(ネットアドバンス社) JKBOK 版平安遺文公開協力を含む) / On-line Glossary of Japanese Historical Terms

〔共同利用・共同研究拠点による研究(特定研究) 小川八幡神社大般若経の文化資源化研究(特定研究) 賀茂別雷神社文書の調査・研究(一般研究) 東大寺文書の近世・近代、日本史用語グロッサリーの再構築にむけて

【学内教育】文化・人間情報学特論(大学院情報学環)

【学外活動】東大寺貴重書調査メンバー

〔史料調査〕日本歴史学会評議員

〔学会活動〕東洋大学文学部非常勤講師(日本史料演習) / 中央大学文学部非常勤講師(古文書学) / 中学校社会教科書(歴史)(教育出版社刊) 執筆担当

小瀬玄士 古文書・古記録部門 助教

【研究活動】研究テーマ 中世武家社会の研究

〔編著〕藤田励夫・佐藤健治・岡村一幸・小瀬玄士編『龍興山大慈寺所蔵史料』(東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二一―三、二〇二三年三月)

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「九州所在中世対外交通関係史料の調査・研究」共同研究者(所内担当)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データベース化に関する研究」(代表山家浩樹) 研究分担者 / 基盤研究(B)「原本史料情報解析」の方法による中世西国武家文書の研究と展開」(代表本郷恵子) 研究分担者

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書』家わけ第十七 大徳寺文書別集徳禅寺文書之二の出版(二三年三月)

〔史料採訪〕宮城県多賀城市東北歴史博物館寄託伊達家文書の調査(二二年六月) / 大阪府堺市大阿弥陀経寺所蔵史料・堺市博物館所蔵寄託史料の調査・撮影(二二年六月) / 奈良県奈良市薬師寺所蔵史料の調査・撮影(二二年七月) / 京都府京都市仁和寺所蔵史料の調査(二二年七月) / 京都府京都市京都大学寄託勧修寺文書の調査(二二年八月) / 大阪府箕面市勝尾寺所蔵史料の調査(二二年九月) / 奈良県奈良市西大寺所蔵西大寺文書の原本校正(二二年一〇月) / 福岡県久留米市教育委員会寄託史料・同市高良大社文書の調査・撮影(二二年一〇月) / 長崎県長崎市長崎歴史文化博物館所蔵青方文書の調査・撮影(二二年一〇月) / 京都府京都市醍醐寺文書の原本校正(二二年一月) / 福岡県太宰府市九州国立博物館保管小早川家文書・同館所蔵文書の調査・撮影(二二年二月) / 鹿児島県鹿児島市黎明館所蔵史料・霧島市華人歴史民俗資料館所蔵史料の調査・撮影(二二年二月) / 高良大社文書の調査・撮影(二三年一月) / 宮城県多賀城市東北歴史博物館寄託伊達家文書の調査(二三年一月) / 長崎県長崎市長崎歴史文化博物館所蔵青方文書の調査・撮影(二三年二月) / 熊本県宇城市熊本県博物館ネットワークセンター所蔵地震史料の調査・撮影(二三年二月) / 鹿児島県鹿児島市黎明館所蔵・寄託史料の調査・撮影(二三年三月) / 京都府京都市仁和寺所蔵史料の調査(二三年三月)

【所内行政】

〔所内〕所報紀要委員会 / 史料図書選定委員会

【所外活動】

〔文化財行政〕文化庁調査員

木下竜馬 古文書・古記録部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 中世法制史

〔史料紹介〕「翻刻 青山文庫本貞永式目追加 その一」(鎌倉遺文研究) 四

九、二〇二二年四月

〔小文〕「時代考証の領分―大河ドラマ『鎌倉殿の13人』との日々―」(『歴史評論』八七〇、二〇二二年一〇月)

〔学芸発表〕「御成敗式目注釈の世界」(Amited友の会第一回研究大会、二〇二二年九月九日)

〔講演〕「北条泰時論」(埼玉県立嵐山史跡の博物館企画展記念講演会「武蔵武士の中世―鎌倉から室町へ―」、二〇二二年一〇月二三日)

〔科学研究費補助金による研究〕研究活動スタート支援「鎌倉幕府法研究の再始動―書誌学的方法による基礎研究―」研究代表者

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 家わけ第十 東寺文書之十九』の編纂

〔史料探訪〕京都府立京都学・歴史館所蔵「東寺百合文書」の原本校正(二二年六月)／京都府京都市醍醐寺所蔵史料の調査・撮影(二二年九月)／奈良県奈良市東大寺図書館所蔵史料の原本校正(二三年二月)／京都府立京都学・歴史館所蔵「東寺百合文書」の原本校正(二三年三月)／京都府京都市賀茂別雷神社所蔵史料の調査・撮影(二三年三月)

【所・学内行政】

〔所内〕研究者集会世話人／東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会委員

尾上陽介 古文書古記録部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 平安時代官僚制の研究、古代中世古記録の史料学的研究

〔論文〕「『基熙公記』の原本について」尾上陽介編『禁裏・公家文庫研究』九、思文閣出版、三月

〔史料紹介〕「陽明文庫所蔵『僧綱補任』について―修理を終えた下巻の紹介―」『禁裏・公家文庫研究』九(前掲)、三月

〔講演〕「陽明文庫所蔵史料のあれこれ」陽明文庫講座、於京都府立京都学・歴史館、二月

〔展示協力〕国立歴史民俗博物館特集展示「中世公家の(公務)と生活―広

橋家記録の世界―」(三月)

〔その他〕東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫編『陽明文庫講座 図録3』、二月(共著)／「陽明文庫所蔵一般文書目録」消息 高精细デジタル撮影目録および索引」『禁裏・公家文庫研究』九(前掲)、三月(共著)／「陽明文庫所蔵史料による料紙研究の可能性」渋谷綾子・天野真志編『古文書の科学 料紙を複眼的に分析する』所収、文学通信、三月

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「撰家伝来史料群の研究資源化と伝統的公家文化の総合的研究」研究代表者(二〇二一年度から繰り越し)／基盤研究(A)「統合史料画像データの生成と駆動方式の確立による人文科学研究基盤の創出」(研究代表者山田太造)研究分担者／基盤研究(A)「国際古文書料紙学」の確立」(研究代表者渋谷綾子)研究分担者／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者山家浩樹)研究分担者／基盤研究(B)「文書群復元と歴史的景観復元の融合による栄山寺および栄山寺領の総合的研究」(研究代表者下村周太郎)研究分担者／成果公開促進費(データベース)「古記録フルテキストデータベース」研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」(特定共同研究、共同研究者)／「中近世古文書の料紙に関する総合的科学研究」(一般共同研究、共同研究者)／「大和国宇智郡所在寺院史料の研究資源化―金石文を中心に―」(同)／「未撮影史料を中心とする陽明文庫の調査・研究」(同)／「蒐集デジタル画像を活用した『魚魯愚鈔』の情報資源化と除目研究の基盤形成」(同)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古記録 平記』下の原稿作成

〔史料探訪〕陽明文庫所蔵史料の調査(五月／八月、一〇月／十一月／一月／三月)／京都大学附属図書館所蔵『僧綱補任』の調査(六月)／和歌山県立博物館寄託小川八幡神社大般若経の調査(九月)／武田科学振興財団杏雨書屋所蔵『実躬卿記』原本の調査(九月)／静嘉堂文庫所蔵『僧綱補任』の調査(二月)／仁和寺所蔵史料の調査・撮影(三月)

【所・学内行政】

〔所内〕 副所長／図書部長／技術部長／予算委員会委員／研究企画委員会委員／図書運営委員会委員／技術部運営委員会委員／財務企画小委員会委員／史料編纂所協議会委員／研究倫理担当者ほか

〔学内〕 図書行政協議会委員／技術職員組織化検討ワーキンググループメンバー／技術職員研修企画委員会委員／部局女性人事加速五カ年計画意見交換会担当／東京大学百五十年史編纂室員ほか

【学外活動】

〔教育〕 朝日カルチャーセンター横浜教室講師／南カリフォルニア大学漢文ワークショップ講師（七月・八月）

〔その他〕 国立歴史民俗博物館共同研究員／公益財団法人陽明文庫評議員／前田育徳会尊経閣文庫編『尊経閣善本影印集成』第十輯（古文書）編集委員

井上 聡 古文書古記録部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世後期古記録の研究、中世荘園史の研究

〔編著書〕 史料纂集古文書編『安保文書』（二〇二二年五月、八木書店、新井浩文・伊藤一美両氏と共編）

〔論文〕 「研究機関による歴史データベースの構築の将来像」（『歴史学研究』一〇二二八号、二〇二二年一〇月）

〔小文〕 「国宝金沢文庫文書データベースのリニューアルオープンについて」（『画像史料解析センター通信』九七、二〇二二年七月）／「御家人の所領経営をめぐって」・「安保文書―北武蔵の中世武家文書」（『書物学』二〇、二〇二二年一〇月）

〔講演〕 「研究機関による歴史データベース構築の将来像」（二〇二二年度歴史研究会大会 特設部報告、二〇二二年五月）／「鎌倉御家人の所領経営」（横浜歴史博物館展覧会イベント「もっと知りたい鎌倉！」連続講座、二〇二二年九月）

〔科学研究費補助金等による研究〕 基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」の研究代表者／基

盤研究(A)「筆跡・花押情報の高効率活用研究―収集スキームの錬成と関連歴史情報との統合による」（研究代表者・末柄豊）の研究分担者／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」（研究代表者・山家浩樹）の研究分担者／基盤研究(A)「デジタル技術による金石文史料の研究資源化と学融合的歴史叙述への応用研究」（研究代表者・菊地大樹）の研究分担者／基盤研究(A)「統合史料画像データの生成と駆動方式の確立による人文科学研究基盤の創出」（研究代表者・山田太造）の研究分担者／基盤研究(A)「中近世「菅浦文書」の公開促進と史料学的・文理融合的研究」（研究代表者・青柳周一・滋賀大学教授）の研究分担者／基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」（研究代表者・西田友広）の研究分担者／基盤研究(B)「西遷・北遷東国武士の社会的権力化」（研究代表者・田中大喜・国立歴史民俗博物館准教授）の研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕 大日本古記録『後法興院関白記』の編纂

〔史料採訪・調査〕 香川県下所在中世史料の調査・撮影（二〇二二年七月）／公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋における『実躬卿記』の調査（二〇二二年九月）／福岡県柳川市古文書館における立花家文書の調査・撮影（二〇二二年一〇月）／長崎歴史文化博物館における青方文書の調査・撮影（二〇二二年一〇月）／滋賀大学経済学部史料館における菅浦文書の調査（二〇二二年二月）／大分県下所在中世史料の調査・撮影（二〇二三年一月）／宇佐神宮所蔵絵図ならびに大分県立歴史博物館寄託絵図の調査（二〇二三年一月）／善通寺所蔵聖教の調査・撮影ならびに所蔵絵図の熟覧（二〇二三年二月）／金刀比羅宮所蔵史料の調査・撮影（二〇二三年三月）／公益財団法人陽明文庫における『後法興院関白記』の調査（二〇二三年三月）

〔所内プロジェクトなど〕 画像史料解析センタープロジェクト「日本荘園絵図影プロジェクト」／「金石文・拓本プロジェクト」／「電子くずし字字典開発プロジェクト」／「花押彙纂等の花押画像データベース統合化プロジェクト」

〔史料編纂所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト〕 特定共同研究「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する

研究」

る研究」／一般共同研究「香川県下所在の中世史料の調査と史料学的研究」
〔研究代表者 守田逸人・香川大学准教授〕・「菅浦現地伝来史料の作成時期
と料紙に関する研究」〔研究代表者 青柳周一・滋賀大学教授〕

【所・学内行政】

〔所内〕情報処理副主幹／所外史料複製利用条件確認ワーキンググループ座長
【学外活動】

〔行政〕長野県立歴史館資料委員会委員
〔自治体史編纂〕高知県史編さん委員会委員

〔教育〕東京女子大学非常勤講師／公益財団法人いきいき埼玉講座講師

遠藤珠紀 古文書古記録部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世朝廷制度史の研究

〔論文・小論〕「松（信松院殿）」丸島和洋編『武田信玄の子供たち』宮帯出版、二二年四月／「新たな山中長俊書状写と豊臣秀吉の「唐人り」構想」『古
文書研究』九三、二二年六月／「北条政子危篤の報と公家社会」『書物学』二
〇、二二年一〇月

〔史料紹介〕遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎「綱光公記 宝徳
三年四月～六月記」『東京大学史料編纂所研究紀要』三三、二三年三月／金
子拓・遠藤珠紀・志賀節子・高橋敏子「賀茂別雷神社領関係文書」『東京大
学史料編纂所研究紀要』三三、二三年三月／遠藤珠紀・宮崎肇・金子拓「宣
教卿記 天正三年記紙背文書（一）」『早稲田大学図書館紀要』七〇、二三年
三月／藤井讓治・遠藤珠紀「近衛前久書状の紹介（近衛家記録十五函文
書）」・「東求院筆物」所収分」遠藤珠紀「寛文七年『御ゆとのの上の日々
記』の紹介」遠藤珠紀・尾上陽介・藤井讓治「陽明文庫所蔵一般文書目録
」『消息』高精細デジタル撮影目録および索引」尾上陽介編『禁裏・公家文庫
研究』九、思文閣出版、二三年三月
〔その他〕「近衛信尹書状土代 関が原合戦前夜の近衛家と島津家」『陽明文
庫講座図録4』東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫、二三年二月／
国立歴史民俗博物館特集展示「中世公家の（公務）と生活 広橋家記録の世

界」参加

〔口頭報告〕「北条政子危篤の報と公家社会」横浜市歴史博物館「鎌倉武士の
イメージ 展覧会プレイベント」二二年八月／「賀茂別雷神社の神主たちの
見た中世京都」文京アカデミア「史料研究の最前線―史料編纂所の共同研究
から―」第二回、二二年五月／「賀茂別雷神社の神主たちの見た中世京都」
あきたスマートカレッジ「史料研究の最前線―史料編纂所の共同研究から
―」第二回、二二年九月

〔科学研究費補助金による研究〕「日本中世古記録・文献史料の史料学的研究
による朝廷制度史・政治史の考察」（基盤研究(C)）研究代表者／「筆跡・花押
情報の高度利活用研究」（基盤研究(A)未柄豊代表）研究分担者／古記録フル
テキストデータベース」代表者

〔所内プロジェクト〕画像史料解析センタープロジェクト「電子くずし字字
典開発プロジェクト」／一般共同研究「未撮影史料を中心とする陽明文庫の
調査・研究」所内研究員／特定共同研究・中世「賀茂別雷神社文書・社家文
書の調査・研究」所内研究員

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『薩戒記』七巻の編纂準備

〔史料採訪〕京都市上賀茂神社所蔵史料の調査・撮影（二二年六月・二三年
二月・三月）／京都市陽明文庫所蔵史料の調査（二二年五月・六月・八月・
十一月・二三年正月・二月・三月二回）／中井家文書国際研究会参加（二
二年二月）／大阪市杏雨書屋所蔵『實躬卿記』の原本校正（二二年九月・
二三年正月）

【所・学内行政】

〔所内〕図書副部長／図書運営委員会委員／前近代日本史情報国際センター
運営委員会委員／予算委員会委員／社会連携・市民講座企画検討小委員会委
員／ハラスメント予防担当者

【学外活動】

清泉女子大学非常勤講師／慶應義塾大学非常勤講師／早稲田大学非常勤講師
／駒澤大学非常勤講師／國學院大學研究開発推進機構共同研究員／古文書学
会編集委員・評議員／国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員（陰陽師

とは何者か) / 国立歴史民俗博物館共同研究「『広橋家旧蔵記録文書典籍類』を素材とする中世公家の家蔵史料群に関する研究」(研究代表者・家永遵嗣)の共同研究員

杉森玲子 特殊史料部門 教授 / 近世史料部門・画像史料解析センター(兼任) / 地震火山史料連携研究機構(兼任)

【研究活動】

研究テーマ 近世都市社会の研究 / 地震・火山噴火史料の研究
〔論文〕“Origin Time of the 1854 Tokai Earthquake Recorded in the Log-book of the Russian Frigate *Diana*”, *Journal of Disaster Research*, 17 (3), April 2022 (有泉和子・佐竹健治と共著)

〔口頭報告〕「安政の南海トラフ地震・江戸地震が与えた影響」日本学術会議主催学術フォーラム「国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」(二〇二二年七月七日、日本学術会議講堂、ハイブリッド開催) / 「史料からみた一六四〇年北海道駒ヶ岳噴火」第三九回歴史地震研究会(二〇二二年九月一七〜一九日、関西大学高槻ミュージアム) / 「江戸で記録された噴火・地震」文京アカデミー特別公開講座【東京大学史料編纂所特別講演会】「歴史のなかの災害 史料から読み解く」(二〇二二年一月一日、文京シビックセンター小ホール) / 「安政東海地震の発震時刻」外国語史料の活用」地震史料シンポジウムⅡ「災害史料研究が拓く歴史学の新たな方法」(二〇二二年二月三日、オンライン開催) / 「一六四〇年北海道駒ヶ岳噴火関係史料の調査・研究」地震・火山噴火予知研究協議会令和四年度「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第二次)」成果報告シンポジウムポスターセッション(二〇二三年三月八日、オンライン開催) / 「江戸の都市社会と地震・噴火被害」一般社団法人レジリエンス協会(二〇二三年三月八日、オンライン開催)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料 市中取締類集 三十二』の出版
〔東京大学地震研究所との共同研究〕「文献史料による歴史地震に関する情報の収集とデータベースの構築・公開」(代表機関・東京大学史料編纂所) /

「歴史地震火山活動データベース構築・分析」(東京大学地震火山史料連携研究機構) / 「近代以前の地震・火山災害に関する多角的な研究」(東京大学史料編纂所)

〔史料採訪〕山口県文書館毛利家文庫所収の地震関係史料の調査・撮影(二〇二三年三月)

〔教育〕教養学部学術フロンティア講義「歴史資料と地震・火山噴火」(夏学期)

【所・学内行政】

〔所内〕研究企画委員会委員長 / 共同利用・共同研究拠点小委員会副委員長 / 財務企画小委員会委員 / 画像史料解析センター運営委員会委員

【学外活動】

〔学会活動〕日本歴史学会評議員

〔学外委員〕文化庁文化審議会文化財分科会第一専門調査会専門委員 / 長野県文化財保護審議会委員

〔教育〕慶應義塾大学文学部非常勤講師(春学期・秋学期)

岡 美穂子 特殊史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 日本史と世界史の接続、キリシタン史、海外通交史

〔著書〕Oka, Mhoko (ed). *War and Trade in Maritime East Asia* (Palgrave Studies in Comparative Global History), Palgrave Macmillan, 2022.

岡美穂子編「つなぐ世界史」第一巻古代・中世編、清水書院、二〇二三年

〔論文〕「西洋から見た石見銀山」大田市教育委員会編『石見銀山学ことはじめ』第四巻、二〇二二年六月 / 「奴隷たちの世界史」(共著)『岩波講座世界

歴史』十一巻、二〇二二年一月 / 「アジアのイエズス会士」『アジア人物史 近世の帝国の繁栄とヨーロッパ』集英社、二〇二二年一月 / 「十六世紀日本におけるイエズス会の食文化外交」『史潮』九二号、二〇二二年二月 /

「史料紹介一五七二年十月五日付、天草発、ルイス・デ・アルメイダの書翰」『東京大学史料編纂所研究紀要』第三三三号、二〇二三年三月

〔招待講演〕「カルチャーセンター」

「戦国時代の日本とポルトガル」かわさき市民アカデミー（川崎市生涯学習プラザ）二〇二二年五月／From Genoa to Nagasaki -Maritime Loan in the 17th Century Japan and an Italian Jesuit Carlo Spinola. *History of Insurance in a Global Perspective : Comparing Risk Management Strategies in the Mediterranean and East Asian Maritime Business (16th-19th centuries)*, Bazel University (online participation), July 2022. /「人吉城の地下水槽とは。」求麻郷土研究会五〇周年記念企画人吉城地下室遺構の謎に迫る！シンポジウム（人吉カルチャーパレス大ホール）二〇二二年九月／「イエズス会史料に見る中世日本の海上交通—ルイス・デ・アルメイダの旅と生涯—」文京アカデミア（文京シビックホール）二〇二二年一〇月／「十六〜十七世紀内陸肥後の宗教・貿易・産業—人吉藩の事例を中心に—」科学研究費基盤研究(A)「近世ユーラシアの宗教アイデンティティ・グローバル多元主義と地域大国主義の相克」(代表:守川知子) 定例研究会(オンライン) 二〇二二年一〇月／「相良清兵衛の地下室とは何であったのか—妙見信仰施設としての仮説提起—」国際シンポジウム「日本と東アジアの(異文化交流文学史)」(立教大学太刀川記念館) 二〇二二年一〇月／「ルイス・デ・アルメイダの旅と生涯」長崎県主催《キリシタンと日本》シンポジウム（平戸市生月町開発総合センター）二〇二二年一〇月／Os Portuguese nas Fontes Orientais e Alguns Vestígios, Award Commemorative Lecture for Fundação Oriente - Embaixador João de Deus Ramos (Academia da Marinha de Portugal) Nov. 2022 / The Namban Trade from the 16th to 17th Century, Eiwha University Korea, International Symposium Maritime Networking between the East and the West, Jan. 2023 / Kirishitan History in Japan during the 16th and 17th Century, 東京大学大学院総合文化研究科国際交流センター特別講義

〔科学研究費補助金による研究 研究分担者〕

基盤研究(A)「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」(代表者:保谷徹) 二〇二〇〜二〇二三年度
挑戦的研究(開拓)「ポルト南蛮屏風の総合的研究による新領域の開拓」(代表者:関口博巨) 二〇二一〜二〇二三年度 基盤研究(A)「近世ユーラシアの

宗教アイデンティティ—グローバル多元主義と地域大国主義の相克」(代表者:守川知子) 二〇二二年度〜二〇二五年度

【所・学内外業務】

〔史料編纂〕『日本関係海外史料 イエズス会日本書翰集』原譯文編之六刊行準備

〔授業担当〕文化・人間情報学特論(大学院情報学環) / 日本史概説(立教大学法学部)

〔所内委員〕予算委員会 / 共同利用・共同研究拠点小委員会 / 男女共同参画連絡担当者

〔学外委員〕長崎県かくれキリシタン文化財調査保存委員会(二〇一八年〜現在) / 長崎県世界遺産学術委員会(二〇二二年〜現在)

松井洋子 特殊史料部門 教授

研究テーマ 近世の対外関係と地域社会

【研究活動】

〔論文〕「蒐集マイクログラムの目録化とその意義—オランダ語史料を中心に—」(『東京大学史料編纂所紀要』三三三号、二〇二三年三月)

〔小論〕(書評) 国立歴史民俗博物館監修「性差の日本史」展示プロジェクト編『新書版性差(ジェンダー)の日本史』(『ヒストリア』二九三号、二〇二二年八月) / (史料紹介)「正徳三年 本石灰町中検地新水帳」について

〔長崎市長崎学研究所紀要「長崎学」七号、二〇二三年三月) / (史料紹介と研究)「東京大学所蔵の二つの「プロムホフ家族図」(高島晶彦氏と共著)、『東京大学史料編纂所画像史料解析センター通信』一〇〇号、二〇二三年)

〔口頭報告等〕「豊後切支丹史料とマリオ・マレガ神父」(鼎談「マレガ・プロジェクト」の成果と今後の大分に期待するもの)於白杵市中央公民館 二〇二二年七月三〇日 / 「日本史史料としてのオランダ語文書—日本商館文書とその周辺—」(第二九〇回研究発表会 オンライン開催 二〇二三年三月三〇日)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(B)「一次史料に基づく近世〜近代

日本の「遊廓社会」に関する総合的研究(二〇一九年度〜二〇二二年度・研究代表者佐賀朝(大阪市立大学) 研究分担者/基盤研究(A)「奴隷」と隷属の世界史―地中海型奴隷制度論を中心として―)(二〇二〇年度〜二〇二二年度・研究代表者清水和裕(九州大学) 研究分担者)

〔人間文化研究機構 共創先導プロジェクト 日本関連在外資料調査研究〕「外交と日本コレクショナー―九世紀在外日本資料の世界史的文脈による研究と現地およびオンライン空間における活用」(プロジェクト連携研究員)

〔史料探訪・現地調査(科学研究費による)〕長崎歴史文化博物館(二〇二二年一月)・九州大学記録資料館(二〇二三年一月)・ブラジル現地調査(サンパウロ・レシーフェ・サルバドル・リオデジャネイロ、二〇二三年三月)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『日本関係海外史料オランダ商館長日記』訳文編之十三(下)の編纂・刊行準備

【所内行政】史料・図書選定委員会委員

【学外活動】

〔各種委員等〕長崎市出島史跡整備審議会・建造物復元小委員会委員/大分県先哲叢書編さん審議会委員/国立歴史民俗博物館共同研究員/日本歴史学会評議員

〔教育〕慶應義塾大学非常勤講師(二〇二二年度春学期・秋学期)/公益財団法人徳川記念財団古文書講座講師(二〇二二年八〜九月)

松方冬子 特殊史料部門 教授 東京大学ヒューマンティーズ・センター兼務(二二年六月まで)

【研究活動】

研究テーマ 行動する人の歴史/外交の世界史/概念史(「翻訳」としての蘭学史)/近世日本対外関係史/近世日本の武家社会

〔小論〕“Introduction” and “After the seminar.” Humanities Center Booklet Vol. 16, *Royal Letters, Imperial Documents: A Japanese, Korean and Thai Dialogue for a Global History of Inter-State Relations*, 東京大学ヒューマンティーズセンター(HMC)オープンセミナーより, 二二年六月

〔史料紹介〕イサベル・田中・ファンダーレン、大東敬典と共校閲、解題執筆「オランダ東インド会社総弁務官宛遣清使節イザーク・ティンク書翰」『洋学』二九号、二二年五月/大東敬典・久礼克季・富田暁と共訳「史料紹介」『蘭領東インド外交文書集』(その2)―オランダ東インド会社とグロテイウス―『東京大学史料編纂所研究紀要』三三三号、二三年三月

〔講演〕「ティツィングが入手した日本の書物」―洋学とは何か―、講演会「洋学―日蘭の出会いと知の共創の歴史―」オランダ王国大使館、二二年四月一六日/日本の歴史学は今まで何をしてきたのか? FAMES, the University of Cambridge, the United Kingdom, 10 May 2022/「関税と領事の前史―オランダ商館長日記から外交の世界史を問う―」文京アカデミア、二二年六月一日/Introduction for the Workshop “The Indian Ocean, 1600-1800: Exploring the Frontier of Maritime History in Japan (Part II),” online, hosted by the Monsoon Project-II, the University of Tokyo, 24 June 2021

「関税と領事の前史―オランダ商館長日記から外交の世界史を問う―」秋田スマートカレッジ、オンライン、二二年一〇月八日/“Non-English Sources for Global History: An Introduction.” GHCC, the University of Warwick, 14 March 2023/“Reading Primary Sources: The Deshima Diaries and the Banned Goods of 1668.” GHCC, the University of Warwick, 14 March 2023

〔研究会発表〕「論書」をめぐって―約条再論―「外交史料研第五回研究会、於藤女子大学、二二年七月三十一日/「ポランニー『経済と文明』と坂井『イスラームと商業の歴史人類学』を読む」同、二二年八月一日/「本野英一『伝統中国商業秩序の崩壊』を読む」外交史料研第六回研究会、於東京大学史料編纂所、二二年二月四日/「一九世紀言語を使わない方法―誤読されないための一つの試案―」同、二二年二月二十五日/Michael Talbot, *British-Ottoman Relations, 1661-1807* を読む」外交史料研第七回研究会、於京都府立大学、二三年三月五日

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「外交の世界史の構築…15〜19世紀ユーラシアにおける交易路の独占と政権による保護・統制」(二一〜二四年度) 研究代表/国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))「循環」を問い直す―物質・文化・環境を繋ぐグローバルヒストリー―(一九〜二四

年度、研究代表者：杉浦未樹)の研究分担

〔民間の競争的研究資金による研究〕イサーク・エイリオン財団 Profiling Leiden Japan Sources in the Global History field: From Bipolar to Multipolar Research (研究代表者：キリ・パラモア)の研究分担

〔所内プロジェクト〕共同利用・共同研究拠点特定共同研究「本所所蔵在外日本関係史料の多角的利用のための翻訳研究」/共同利用・共同研究拠点一般共同研究「ボサドニック号事件関係史料の研究」

〔学内プロジェクト〕東京大学HMC企画研究「行動する人の歴史：力はどこからくるか」(二〇二〇年七月～二〇二二年六月)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『日本関係海外史料 オランダ商館長日記』訳文編之一三(下)の編纂

〔史料探訪〕オランダ国立中央文書館におけるビック文書調査、ライデン大学図書館におけるテイティング遣清使節日記の調査(二〇二三年三月一七～二三日)

〔教育〕大学院人文社会学系研究科・文学部(オランダ語史料研究) 通年 金曜日二限/文系三研究所学術フロンティア講義「人文社会学の研究現場」

春学期 金曜五限(初回「私の研究現場」および討論二回担当)

【所・学内行政】

〔所内委員〕特殊史料部門副代表/文系三研究所学術フロンティア講義幹事

【学外活動】

〔その他〕日蘭交渉史研究会代表/洋学史学会評議員/日本学士院国際学大学院連合関連事業特別委員会委員/日本学術会議連携会員(史学委員会国際歴史学会議等分科会委員)/文部科学省学術分科会科学官/本郷事業場過半数代表者選出のための史料編纂所選挙管理委員会委員長/「学術の中長期戦略」(グローバル・ヒストリーのための非英語史料編纂所の設立)提案

大東敬典 特殊史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世対外関係史/オランダ東インド会社史/インド洋史
〔論文〕「オランダ東インド会社総弁務官宛同社遣清使節イサーク・テイチン

グ書翰」(森田由紀訳、松方冬子・イサヘル・田中・ファンダーレン・大東敬典校閲、松方冬子解題)『洋学』二九、二〇二二年四月/『蘭領東インド外交文書集』(久礼克季・富田暁・松方冬子と共編訳、解題を担当)『東京大学史料編纂所研究紀要』三三、二〇二三年三月

〔口頭報告〕「条約集編纂の試み―英蘭東インド会社の事例から―」法制史学会東京部会第二八一回例会、ハイブリッド、二〇二二年五月一日/「Re-thinking the Dutch Decline in the Persian Gulf: An Analysis of VOC Shipping Lists」Monsoon II Workshop “The Indian Ocean, 1600-1800: Exploring the Frontier of Maritime History in Japan (Part II)” jointly organized by The Historiographical Institute, The University of Tokyo Humanities Center, and Ishin Shiryō Database Project, Online, 24 June 2022/“Trade, Consumption and Diplomacy in the Indian Ocean,” Islamic Trust Studies Group Workshop “Trade, Diplomacy and Capitulations in the Early Modern World,” jointly organized by Group B01 “The Ideas of the Muslim Community and State Systems.” (Nobuaki Kondo) and Grant-in-Aid for Scientific Research (A), “Toward a Global History of Inter-State Relations: A Comparative Study on Governmental Controls on Commercial Exchanges and Traffics in Eurasia, 1400-1900.” (Fuyuko Matsukata), Tokyo University of Foreign Studies, Hybrid, 3 March 2023/“Hofvezien to Persia: Environments and Cooperation,” Humanities Center Open Research Seminar vol. 90 “VOC’s Hofvezien: Japan, India and Persia,” The University of Tokyo, Hybrid, 29 March 2023

〔科学研究費補助金による研究〕研究活動スタート支援「サファヴィー朝との合意文書によるオランダ東インド会社外交文書編纂の研究」研究代表者/基盤研究(A)(代表：松方冬子)「外交の世界史の再構築―15～19世紀ユーラシアにおける交易と政権による保護・統制―」研究分担者

〔共同利用・共同拠点による研究〕特定共同研究「本所所蔵在外日本関係史料の多角的利用のための翻訳研究」所内共同研究者

〔ヒューマニティーズセンター〕公募研究A「オランダ東インド会社による「宮廷旅行」の比較研究―日本、マラバル、ペルシア―」研究代表者

山家浩樹 特殊史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 室町幕府の研究

〔書評〕早島大祐編「中近世武家菩提寺の研究」(『史学雑誌』一三二—一六)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データベース化に関する研究」研究代表者／基盤研究(A)「統合史料画像データの生成と駆動方式の確立による人文科学研究基盤の創出」(研究代表者山田太造) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂・研究〕(中世禅籍史料研究プロジェクト)本所所蔵「帰周和尚語録」の電子テキスト化を完了し、古記録フルテキストデータベースより公開した。同史料の全文データ暫定版(略解題を附す)をHPから公開した。また、「龍湫和尚語録」東西の電子テキスト化を行った。

〔史料調査〕兵庫 大明寺・大同寺等所蔵史料の調査・撮影／和歌山 高野山金剛三昧院等所蔵史料の調査・撮影(二回)／三重 三重県下所在中近世史料の調査・撮影

【教育】

〔教育〕人文社会系研究科で演習「中世宗教史料の研究」を担当

〔共同利用共同研究拠点〕「多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクション」と近世和紙との比較研究」(代表者安平勝利) 所内担当者

【所・学内行政】

〔所内〕前近代日本史情報国際センター運営委員会

【学外活動】

〔教育〕日本女子大学大学院文学研究科非常勤講師

〔委員等〕教科用図書検定調査審議会臨時委員

〔学会活動〕日本歴史学会評議員

岡本 真 特殊史料部門 准教授／中世史料部門(兼任)

【研究活動】

研究テーマ 中世後期・近世初期対外関係史

〔論文〕「宮内庁書陵部所蔵『聯句』にみる策彦周良の周辺」(『市史研究ふくおか』一八、二〇二三年三月)

〔口頭報告〕「續伸一郎氏報告コメント」(日本貿易陶磁研究会第四二回研究会集、二〇二二年九月)／「遣明船と五山禅僧」(第一七七回鎌倉禅研究会、二〇二二年九月)／「一六〇一—一七世紀日本の南欧相関外交文書」(以一九二二年豊臣秀吉致「小琉球」文書を中心) (国際研討会「二〇二二 内亞と海洋・明清中央檔案、地方文書及域外史料」二〇二二年二月)

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「日本中近世外交文書写本および外交文書集の史学的研究」研究代表者／基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」(研究代表者井上聡) 研究分担者／基盤研究(C)「中世後期日明関係の人的基盤の研究」

〔初渡集〕「再渡集」を中心に(研究代表者須田牧子) 研究分担者／基盤研究(C)「ルイス・フロイスによる日本情報に関する総合的研究」(研究代表者伊川健二) 研究分担者

〔共同研究〕一般共同研究「史料編纂所所蔵明清中国公文書関係史料の比較研究」所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕本所所蔵「策彦周良文集」の内容検討と電子テキスト化

〔史料探訪・調査〕ポルトガル国立図書館・同国立文書館所蔵史料の調査(二〇二二年八月)／藤井斉成会・岐阜県歴史資料館所蔵史料の調査(二〇二二年九月)／仁和寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年一月)／鹿児島県下所在史料の調査・撮影(二〇二二年一月)／尊経閣文庫所蔵史料の調査(同)

【所・学外行政】

〔所内〕史料探訪委員会委員／広報委員

〔学外委員等〕福岡市史編集委員会専門委員

稲田奈津子 画像史料解析センター・古代史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 古代儀礼史研究／東アジア比較文化史

〔編著書〕『黄泉の国との契約書―東アジアの買地券』（共編著、勉誠出版、三月）

〔論文〕「京都大学附属図書館所蔵『正倉院東大寺宝図』について」（『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』九八、一〇月）／「藤原兼通と兼家―執念の兄弟確執―」（『新古代史の会編』『人物で学ぶ日本古代史3平安時代編』吉川弘文館、二月）／「国際都市平城京」（岡美穂子責任編集『つなぐ世界史 第一巻 古代・中世』清水書院、三月）／「コラム 正倉院宝物の模写」（国立歴史民俗博物館編『いにしえが、好きっ！―近世好古図録の文化誌―』、三月）

〔口頭報告〕「新出高麗買地券の紹介と釈読」（金石文科研二〇二二年度第一回研究会、五月）／「朝鮮と日本の買地券」（東京大学ヒューマニティーズセンター第六九回オープンセミナー「黄泉の国との契約書―東アジアの買地券―」、六月）／「平城京の国際性」（国立臺灣大學日本研究中心第九屆全國研究生研習營「人文與社會科學對話的日本研究」、九月）

〔書評・紹介〕「文献案内 飯田剛彦『平安時代の東大寺における古器物・古経巻の保存と活用』（『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』九六、四月）

〔コメント〕羅有晶氏「『広開土王陵碑』旧民守墓人烟戸に見られる高句麗の編戸様相」および鄭華升氏「4〜5C中国系移住民の官号自称の事例とその背景―雲南兩爨碑」と秦浪・帯方郡故地の中国式古墳に見られる事例を中心に―へのコメント（金石文科研二〇二二年度第四回研究会、一月）／丸山裕美子氏「律令制研究と木簡研究―飛鳥浄御原令と『前白』木簡をめぐって―」へのコメント（慶北大学校人文学術院HK+事業団第五回国際学術会議「木簡に反映された古代東アジアの法制と行政制度」、一月）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(C)「東アジア墓葬文化の伝播と展開―金石文資料の形態的分析を中心に―」研究代表者／基盤研究(A)「データ繋留型編纂支援・資源化システム構築と歴史情報データベースの次世代展開」（研究代表者・山口英男）研究分担者／基盤研究(B)「古代日本と朝鮮の金石文にみる東アジア文字文化の地域的展開」（研究代表者・三上喜孝）研究分担者／基盤研究(B)「東アジア諸地域における王室儀礼比較史のための国

際的研究基盤の構築」（研究代表者・伴瀬明美）研究分担者／挑戦的研究（萌芽）「忘れられた東アジアの古代塗料『金漆』の復元研究」（研究代表者・小倉慈司）研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究・古代史料領域「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」研究代表者

〔画像史料解析センタープロジェクト〕「正倉院宝物図プロジェクト」研究代表者

〔ヒューマニティーズセンター〕公募研究A「金石文資料からみた東アジアの墓葬文化―墓誌・買地券を中心に―」研究代表者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第一編／『九世紀編年史料』／『正倉院文書目録』九・続々修四の編纂・出版

〔史料探訪・調査〕買地券調査（九州国立博物館、五月）／小川八幡神社大般若経調査（和歌山県立博物館、六・三月）／買地券調査（倉敷考古館、六月）

／正倉院文書の調査（宮内庁正倉院事務所、一月）／買地券調査（韓国東谷博物館、一月）

〔教育〕文学部非常勤講師

【所・学内行政】

〔所内〕東アジア編纂機関協議会準備小委員会副委員長／画像史料解析センター運営委員会委員／社会連携・市民講座企画検討小委員会委員長

〔学内〕男女共同参画室室員

【学外活動】

〔教育〕東洋大学・成蹊大学・法政大学非常勤講師

〔共同研究〕国立歴史民俗博物館共同研究員（『延喜式のデジタル技術の汎用化』、研究代表者・小倉慈司）／国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員（『いにしえが、好きっ！―近世好古図録の文化誌―』）

〔学会活動〕正倉院文書研究会委員／日本歴史学会評議員／大丘史学会編集委員

菊地大樹 画像史料解析センター兼古文書古記録部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 日本中世史・日本宗教史

〔著書〕『吾妻鏡と鎌倉の仏教』吉川弘文館、二〇二三年三月

〔論文〕「環境と身体を結ぶもの―聖一派の印信から考える」『東アジア仏教学術論集』一一、二〇二三年二月／「青蓮院吉水藏慈円関係聖教について（上・下）」『東京大学史料編纂所研究紀要』三二・三三、二〇二二年三月・二〇二三年三月

〔研究報告〕「草木は意志を持つ―環境思想の一〇〇〇年―」二〇二二年九月於ロータリークラブ浅草／「環境と身体を結ぶもの―聖一派の印信から考える―」二〇二二年一〇月於シンポジウム「文献は何を語るか」（東洋大学）

〔東洋学研究所プロジェクト（井上助成）〕／「下総八幡荘をめぐる宗教政治―社会的背景」二〇二二年一二月於歴史学研究会中世史部例会／「陸奥からみた中世東国文化の広がり」二〇二三年二月於「板碑が語る中世の石巻―」

〔石巻の歴史』板碑編から三〇〇年―」（石巻市博物館企画展関連企画）／「高野山町石の歴史的意義」二〇二三年二月於調査成果報告会「高野山町石を語る」（高野町中央公民館）／「New Findings in the Kohzō Bosatsu Gomonji-hō in Medieval Japan」, *Sacred Secrets: Networks of Secret Knowledge in Japanese Religions at CJS, UC Berkeley*. March 2023. / "Politics and Religion in the Kamakura Period: Investigating the Milestone (*chōshi*) Dedicated at Mt. Koya", *Expanding the Range of Japanese Buddhist and Religious Studies Workshop*, Reischauer Institute of Japanese Studies, Harvard University, March 2023

【所内業務】

〔史料編纂〕大日本古記録『實躬卿記』十の出版

〔史料探訪〕大阪府箕面市勝尾寺石造物調査、二二年五月／群馬県太田市長楽寺文書調査、二二年五月・十一月／和歌山県高野町高野山町石調査、二二年五月・八月／奈良県奈良市薬師寺所蔵史料調査、二二年七月／大阪府大阪市武田科学振興財団杏雨書屋所蔵『実躬卿記』調査、二二年九月・二三年一月／京都府京都市青蓮院門跡吉水藏聖教調査、二二年九月・二三年一月

〔プロジェクト〕「金石文拓本史料の整理と公開」（画像史料解析センター）

〔共同研究〕「大和宇智郡所在寺院史料の調査」（研究代表者早稲田大学下村周太郎、所内共同研究者）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「デジタル技術による金石文史料の研究資源化と学融合的歴史叙述への応用研究」（一九H〇〇五三六・研究代表者）／「中近世移行期の門跡に関する史料学的研究」（二一K〇〇八四〇・研究分担者）／「宗教テキスト文化遺産アーカイヴス創成学術共同体による相互理解の共有」（二二H〇〇〇〇五・研究分担者）／「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」（二二H〇〇〇一六・研究分担者）

【所内行政】

所報紀要委員会

【学内業務】

【委員会】ヒューマニティーズセンター運営委員

【教育】大学院学際情報学府兼任教員

【調査】醍醐寺文化財研究所研究員

【学会】日本仏教総合研究学会理事

荒木裕行 画像史料解析センター 准教授／近世史料部門（兼任）／地震火山史料連携研究機構（兼任）

【研究活動】

研究テーマ 近世幕府政治史の研究

〔論文〕「ペリー来航時の江戸飯米確保策」（『古文書研究』九四）

〔小文〕「幕藩関係―幕府と藩はどのように政治交渉していたのか」（岩城卓二・上高享・河西秀哉・塩出浩之・谷川穰・吉井幸男編『論点・日本史学』ミネルヴァ書房、二〇二二年）

〔科学研究費補助金による研究〕「預人の政治史的分析による近世中期幕藩国家政治構造の研究」（基盤研究(C) 研究代表者）／「分散型大規模大名家史料群

の高度学術資源化と地域還元」(基盤研究(A)、研究代表者・鶴田啓) 研究分担者／「江戸幕府紅葉山文庫の再構と発信」官内庁書陵部収蔵漢籍のデジタル化に基づく古典学」(基盤研究(A)、研究代表者・住吉朋彦) 研究分担者／「近世書状史料群の研究と歴史情報資源化」(基盤研究(B)、研究代表者・松澤克行) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料 広橋兼胤公武御用日記』十五の出版準備
〔史料探訪〕苗木遠山史料館所蔵史料の調査(岐阜県中津川市、二〇二二年一〇月)、陽明文庫所蔵「近衛文書」の調査(京都府京都市、三月)

【所・学内行政】

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員
〔所内〕図書運営委員会

【学外活動】

〔学会活動〕『古文書研究』編集委員／『史学雑誌』編集委員

本郷恵子 所長／前近代日本史情報国際センター／中世史料部門(兼任)教授

【研究活動】

研究テーマ 中世公家政権と文化の研究／中世史料論
〔解説〕山本博文『歿死の構造』(角川新書、二〇二二年九月)
〔対談〕「鎌倉殿の死生観」(『文藝春秋』二〇〇一八、二〇二二年八月)／「鎌倉殿vs朝廷 承久の乱の真実」(『文藝春秋』二〇一一年、二〇二三年一月)
〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(B)『『原本史料情報解析』の方法による中世西国武家文書の研究と展開』の研究代表者／基盤研究(A)『統合史資料画像データの生成と駆動方式の確立による人文科学研究基盤の創出』(研究代表者山田太造)の研究分担者／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者山家浩樹)の研究分担者〔所内プロジェクト研究〕「『原本史料情報解析』の方法による南九州関係文書の保全と研究」プロジェクト代表
〔受託事業〕人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進拠点

事業(JSPS) 事業責任者

【所・学内業務】

〔編纂〕『大日本史料第六編之五十一』の編纂・刊行
〔史料探訪〕九州国立博物館所蔵史料の調査・撮影(二〇二二年二月)
〔教育〕大学院人文科学研究科非常勤講師(中世史料購読)／大学院共通授業科目エグゼクティブ・プログラム「日本史史料にみる『読み、書き、考える』」(二〇二二年六月)

【所・学内行政】

〔所内〕所長／前近代日本史情報国際センター長／前近代日本史情報国際センター運営委員会委員／予算委員会委員／研究企画委員会委員／史料編纂所協議会委員／財務企画小委員会委員長／IR・広報室長／人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進拠点事業運営委員会委員

〔学内〕教育研究評議会委員／東京大学予算委員会委員／伊藤国際学術研究センター運営委員会委員／地震火山史料連携研究機構運営委員会委員／情報学環・学際情報学府運営懇談会委員

【学外活動】

〔学外委員〕国際日本文化研究センター運営会議委員／「世界の記憶」国内案件に関する審査委員会委員／国際学士院連合関連事業(日本関係未刊行史料調査事業) 特別委員会委員(日本学士院)／鹿児島県史料編纂顧問(鹿児島県)／財団法人東洋文庫評議員／江戸東京博物館運営委員会委員(東京都)
〔大学教育〕学習院大学文学部非常勤講師(日本史特殊演習)
〔講演〕「鎌倉殿の13人」にみる鎌倉幕府の将軍と御家人」(鹿児島経済同友会、二〇二二年八月)／「天皇制の存続と天皇家の継承」(中世史の視点から) (横浜歴史博物館、二〇二二年一月)／「鎌倉殿と武家政権について」(千葉県社会保険労務士会新春講演会、二〇二三年一月)／「鎌倉時代における二階堂氏の任官について」(黎明館講演会、二〇二三年二月)
〔書評〕『文藝春秋』読書委員
山田太造 附属前近代日本史情報国際センター 准教授
【研究活動】

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

〔論文〕中村寛・劉冠偉・宮崎肇・井上聡・大山航・山田太造「花押を対象としたデータ駆動型歴史情報学研究の実践」じんもんこん2022論文集2022' pp.171-178' 2022 (査読有)／山田太造・中村寛・劉冠偉・井上聡「日本史料データプラットフォーム構築に向けた取り組みと課題」じんもんこん2022論文集 pp.249-256' 2022 (査読有)／劉冠偉・中村寛・山田太造「研究資源としてのWEB APIの利用：歴史資料・古典籍の字形を横断的に検索するアプリケーションの開発」じんもんこん2022論文集 pp.165-170' 2022 (査読有)／中村寛・劉冠偉・山田太造「NDLOCORを用いた東京大学史料編纂所史料集画面画像に対する検索システムの開発」研究報告人文科学コンピュータ(CH) 2022:CH-130' pp.1-8' 2022／Jiu Guanwei, Nakamura Satoru, Yamada Taizo. A Unicode Input Support Tool for Searching Chinese Characters by Components and Stroke Number. Proceedings of DH2022, pp. 653-655, 2022 (査読有)／Shibutani Ayako, Nakamura Satoru, Yamada Taizo, Yanbe Koki. Developing a Comprehensive Application for Digital Transformation of Historical Materials. Proceedings of DH2022, pp. 684-685, 2022 (査読有)／Nakamura Satoru, Suda Makiko, Kuroshima Satoru, Inoue Satoshi, Yamada Taizo. Building a Knowledge Base for Data-Driven Historical Information Research Infrastructure and Its Application with Historical Painting Materials. Proceedings of DH2022, pp. 659-661, 2022 (査読有)／Shin N., Katsumata C., Miru T., Tsutsumida N., Ichie T., Kotani A., Nakagawa M., Khoon K.L., Kobayashi H., Kumagai T., Tei S., Pungga R.A.S., Yamada T., Kameda A., Yanagisawa M., Nasahara K., Muraoka H., Ichii K., Tokumoto Y. Perspective: Improving the accuracy of plant phenology observations and land-cover and land-use detection by optical satellite remote-sensing in the Asian tropics. Frontiers in Forests and Global Change, Vol. 6, 2023, DOI: 202310.3389/fgc.2023.1106723 (査読有)／山田太造「史料の形態データと内容データを関連付ける—複合的史料研究推進に向けた史料情報統合—」古文書の科学：投資を複眼的に分析する『文学通信』 pp.195-207' 2023

〔口頭発表〕山田太造「日本史料データプラットフォーム構築に向けた取り組みと課題」第24回人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2022」／山田太造「史料編纂所における日本史料の収集とその管理」Workshop of Frontiers in Humanities research Data Management in conjunction with DH2022／山田太造「研究データとしての日本史料」データインフラストラクチャー整備公開シンポジウム2023

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(S)「木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開」(研究代表者・馬場基) 研究分担者／基盤研究(A)「統合史料画像データの生成と駆動方式の確立による人文科学研究基盤の創出」(研究代表者・山田太造)／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者・山家浩樹) 研究分担者／基盤研究(A)「多面的な時空間範囲の同定と記述法の開発—緯度・経度／年月日からの脱却」(研究代表者・関野樹) 研究分担者／基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」(研究代表者・西田友広) 研究分担者／基盤研究(A)「エビデンスに基づく計量的地域研究の展開」(研究代表者・原正一郎) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料探訪〕山口県文書館毛利家文庫所収の地震関係史料の調査／立花家史料館所蔵史料の調査・撮影

〔委託事業〕日本学術振興会人文科学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・推進委託業務データアーカイブ機能の強化担当責任者

【所・学内行政】地震火山史料連携研究機構／学術推進支援室学術運営戦略部門 研究データの管理・利活用に関する準備検討ワーキンググループ

【所内】研究開発主査／前近代日本史情報国際センター運営委員会／東アジア史料編纂機関国際学術会議準備小委員会／電子計算機緊急対応チーム／情報支援室／デジタル撮影等に関する課題検討グループ／維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト／歴史地震研究プロジェクト／リプレス作業グループ／所外史料複製物利用条件確認方法検討ワーキンググループ／『原本史

料情報解析』の方法による南九州関係文書の保全と研究プロジェクト
／耐震改修対策ワーキンググループ

【学外活動】

〔教育〕 法政大学大学院人文科学研究科非常勤講師

〔委員会〕 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点課題審査委員会委員
／情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会運営委員／情報処理学会論文誌ジャーナル特集号「人文科学とコンピュータ」編集委員会委員長
／DH2022 Program Co-Chair／Japanese Association for Digital Humanities Administrator

〔共同研究員〕 人間文化研究機構基幹研究プロジェクト連携研究員及び国立歴史民俗博物館共同研究員

洪谷綾子 前近代日本史情報国際センター 特任助教

【研究活動】

研究テーマ 料紙の自然科学的研究／先史時代人の植物食文化と健康状態の復元

〔論文〕 Ayako Shibutani, Tomoya Aono, Yukihito Nagaya. Starch granules from human teeth: New clues on the Epi-Jomon diet (Frontiers in Ecology and Evolution 10, 2022年8月、査読有)

〔共編著〕 洪谷綾子・天野真志編『古文書の科学 料紙を複眼的に分析する』(文学通信, 2023年3月)

〔小論・その他〕 洪谷綾子・横田あゆみ編『科学分析はじめてガイドーサンプリングから解釈まで』(2022年8月)

〔学会・研究会報告〕 Ayako Shibutani. Archaeobotanical Evidence of Dietary Variation in Dental Calculus: Case Studies of Prehistoric Hunter-gatherers in Northern Japan. 9th World Archaeological Congress (WAC9) 2022年7月8日(オンライン)／Ayako Shibutani, Satoru Nakamura, Taizo Yamada, Koki Yanbe. Developing a Comprehensive Application for Digital Transformation of Historical Materials. Digital Humanities (DH) 2022 2022年7月28日(オンライン)／ポスター

査読有)／飯塚義之・石田智子・神谷嘉美・洪谷綾子・南武志「文化財の科学分析／有機物と無機物における調査の実態と課題」学術変革領域研究A「中国文明起源解明の新考古学イニシアティブ」第一五回領域セミナー、2022年8月1日／洪谷綾子・青野友哉・永谷幸人「歯石からの残存デンブ粒抽出の効率化に向けて」第三七回日本植生史学会大会・日本花粉学会第六三回大会合同大会、2022年10月2日(於・奈良文化財研究所平城宮跡資料館、ポスター、査読有)／洪谷綾子「残存デンブ粒分析を知る」学術変革領域研究A「中国文明起源解明の新考古学イニシアティブ」第二回領域セミナー、2023年1月10日(オンライン)／洪谷綾子「古文書×物理化学・料紙分析の新たな展開にむけて」近江貝塚研究会第三五一回例会、2023年2月25日(オンライン)／洪谷綾子「料紙分析で何がわかる? マクロ・ミクロの視点から」公開研究会「茂木文書と科学の出会い」2023年3月5日(オンライン)

〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(A) 『国際古文書料紙学』の確立(研究代表者洪谷綾子)／基盤研究(A) 「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者山家浩樹) 研究分担者／基盤研究(B) 『原本史料情報解析』の方法による中世西国武家文書の研究と展開(研究代表者本郷恵子) 研究分担者／基盤研究(A) 「初期の縄文土器の機能に関する総合的研究」(研究代表者米田稷) 研究分担者／学術変革領域研究(A) 「考古遺物の材料分析と産地推定」(研究代表者神谷嘉美)、「中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ」の計画研究(A〇二) 研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕 一般共同研究「中近世古文書の多面的分析にもとづく料紙の歴史の変遷の研究」(研究代表者天野真志) 共同研究者／一般共同研究「国宝菅浦文書と関連史料の伝来形態と料紙に関する研究」(研究代表者宇佐見隆之) 共同研究者

〔その他〕 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構オプティノベーション推進部加速器科学国際育成事業加速器科学育成プログラム「和紙を科学する」(研究代表者高島晶彦) 研究分担者

【所・学内業務】

〔委託事業〕 日本学術振興会人文科学・社会科学データインフラストラクチャ

ー構築推進事業拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・推進委託業務データアーカイブ機能の強化担当者

【所・学内行政】

〔所内〕前近代日本史情報国際センター運営委員会／『原本史料情報解析』の方法による南九州関係文書の保全と研究』プロジェクト研究分担者

〔学内〕総合研究博物館研究事業協力者

【学外活動】

〔委員会〕Frontiers in Environmental Archaeology (Review Editor)

〔その他〕文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測・政策基盤調査研究センター(専門調査員)

中村 覚 前近代日本史情報国際センター 助教

【研究活動】

研究テーマ 多様な情報の関連付けによる史料活用と研究環境の高度化に関する研究

〔論文〕Kazuhiko Okada・Satoru Nakamura・Kiyonori Nagasaki「Rubri as a Text: A Note on the Ruby Gloss Encoding」Journal of the Text Encoding Initiative Vol. 14 2023年(査読有)／小川潤・大向一輝・中村覚・北本朝展「知識グラフを用いた歴史資料の構造化：TEIとRDFの活用」情報知識学会誌 Vol. 32 No. 4 pp. 428-431 2022年／中村覚「TEIデータに対する可視化・分析ツールの開発」情報知識学会誌 Vol. 32 No. 4 pp. 389-392 2022年(招待有)／Boyoung Kim・Satoru Nakamura・Hidenori Watanabe「Using Archivematica and Omeka S for Long-Term Preservation and Access of Digitized Archive Materials」From Born-Physical to Born-Virtual: Augmenting Intelligence in Digital Libraries pp. 241-250 2022年(査読有)／劉 冠偉・中村 覚・山田 太造「研究資源としてのWEB APIの利用：歴史資料・古典籍の字形を横断的に検索するアプリケーションの開発」じんもんこん2022論文集 Vol. 2022 pp. 165-170 2022年／山田 太造・中村 覚・劉 冠偉・井上 聡「日本史料データプラットフォーム構築に向けた取り組みと課題」じんもんこん2022論文

集 Vol. 2022 pp. 249-256 2022年／中村 覚・劉 冠偉・宮崎 肇・井上 聡・大山 航・山田 太造「花押を対象としたデータ駆動型歴史情報学研究の実践」じんもんこん2022論文集 Vol. 2022 pp. 171-178 2022年／金甫榮・中村覚・渡邊英徳「[B2] 真正なデジタル化資料の長期保存と公開：ArchivematicaとOmeka Sを用いた事例」デジタルアーカイブ学会誌 Vol. 6 No. s3 pp. s147-s150 2022年／K. Nagasaki・S. Nakamura・K. Okada「Building Interfaces for East Asian/Japanese TEI data」TEI Conference and Members' Meeting 2022 2022年(査読有)／中村覚・劉冠偉・山田太造「NDLOCRを用いた東京大学史料編纂所史料集版面画像に対する検索システムの開発」研究報告人文科学とコンピュータ Vol. 2022-CH-130 No. 5 pp. 1-8 2022年／Shibutani, Ayako・Nakamura, Satoru・Yamada, Taizo・Yanbe, Koki「Developing a Comprehensive Application for Digital Transformation of Historical Materials」Digital Humanities 2022 2022年(査読有)／Ogawa Jun・Nakamura Satoru・Nagasaki, Kiyonori・Ohnukai, Ikki「Application for visualizing and analyzing the historical network with context-centric model」2022年(査読有)／Nakamura, Satoru・Suda, Makiko・Kuroshina, Satoru・Inoue, Satoshi・Yamada, Taizo「Building a Knowledge Base for Data-Driven Historical Information Research Infrastructure and Its Application with Historical Painting Materials」Digital Humanities 2022 2022年(査読有)／Liu, Guanwei・Nakamura, Satoru・Yanada, Taizo「A Unicode Input Support Tool for Searching Chinese Characters by Components and Stroke Number」Digital Humanities 2022 2022年(査読有)／Hashimoto, Yuta・Kim, Boyoung・Nakamura, Satoru・Kokaze, Naoki・Inoue, Sayaka・Shigehara, Toru・Nagasaki, Kiyonori「Crowdsourcing as Collaborative Learning: A Participatory Annotation Project for the Photographic Materials of Shibusawa Eiichi」Digital Humanities 2022 2022年(査読有)〔書籍等出版物〕石田友梨・大向一輝・小風綾乃・永崎研宣・宮川創・渡邊要一郎「人文学のためのテキストデータ構築入門：TEIガイドラインに準拠した取り組みにむけて」文学通信 424 2022年

〔講演・口頭発表等〕中村覚「HMCオープンセミナー」顔は何を語るのか・顔貌コレクシヨンの活用と展望(ディスカッサント)」「HMCオープンセミナー」顔は何を語るのか・顔貌コレクシヨンの活用と展望、2023年／中村覚「ジャパンサーチAPIの活用事例」ジャパンサーチAPIハッカソン・ミュージアム、図書館、地域で使えるサービスを作るうー、2023年(招待有)／中村覚「東京大学史料編纂所出版物を用いたNDLOCRの応用事例紹介」2022年度「NDLデジタルライブラリーカフェ」、2023年(招待有)／中村覚「TEIおよびTEIデータの活用について」前近代日本史情報国際センター研究会、2023年／中村覚「水滸伝版本対照プログラムの作り方」2022-2023年度U-PARL協働型アジア研究プロジェクト3「東京大学蔵」水滸伝」諸版本デジタルデータの整備およびこれを用いた研究」第2回研究報告会、2023年(招待有)／中村覚「Digital Tale of Genji: Development of a Research Support System for the Text of the Tale of Genji using III, TEI, and Machine Learning」The Digital Turn in Early Modern Japanese Studies、2022年(招待有)／Jun OGAWA・Satoru NAKAMURA・Asanobu KITAMOTO「Historical Knowledge Graph Creation with User-friendly Linked Data Editor」DH_BUDAPEST_2022 & DARIAH DAYS、2022年／中村覚「OCRテキストを用いた幕末維新史料・横断検索システムの開発」明治維新史学会例会、2022年／Kuroshima Satoru・Suda Makiko・Nakamura Satoru「Digital Archives of the Shoho Ryukyu Kuniezu and Wako-zukan」The 32nd EAJRS Conference、2022年／中村覚「源氏物語本文研究支援系統『数字版源氏物語』の開発」第21回中国古典小説・戯曲文献及びそのデジタル化国際学会、2022年(招待有)〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総合的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」(研究代表者井上聡)／基盤研究(A)「漢文大蔵経の文献学的研究基盤の構築：『大正新脩大蔵経』底本・校本DBの活用と拡充」(研究代表者曾谷佳光)／基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」(研究代表者西田友広)／基盤研究(B)「デジタル文学地図の構築と日本古典文学研究・古典教育への展開」(研究代表者飯倉洋一)／基盤研究(B)

「日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」(研究代表者杉本史子)／基盤研究(B)「戦前・戦中の報道写真を用いたストーリーテリング・デジタルアーカイブのデザイン」(研究代表者渡邊英徳)／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者山家浩樹) 研究分担者／基盤研究(C)「古代エジプト神官文字写本の地域差を含めた言語記述とEFL検索プラットフォームの構築」(研究代表者永井正勝)／若手研究「持続性と利活用性を考慮したデジタルアーカイブシステム構築手法の開発」(研究代表者中村覚)／基盤研究(S)「木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開」(研究代表者馬場基)／基盤研究(C)「近世中国の刑罰制度に関する総合的研究―軍制との関係を中心として」(研究代表者徳永洋介) 研究分担者／若手研究「IIIとTEIを用いたオンライン翻刻支援システムの開発」(研究代表者中村覚)／基盤研究(C)「古代エジプト聖刻文字碑文の言語記述とIII画像を利用した情報共有システムの開発」(研究代表者永井正勝) 研究分担者

【所・学内行政】

【学内】学術資産アーカイブ化推進室

【所内】前近代日本史情報国際センター運営委員会／電子計算機緊急対応チーム／情報支援室

【学外活動】

【委員会】デジタルアーカイブ学会 人材養成・活用検討委員会／情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会 運営委員／Conference of Japanese Association for Digital Humanities プログラム委員／Text Encoding Initiative 東アジア／日本語分科会 運営委員／デジタルアーカイブ学会 学会誌編集委員／CodeLib JAPAN カンファレンス実行委員

【経歴】国立歴史民俗学博物館／東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所／国立国会図書館

村岡ゆかり 史料保存技術室(横写担当) 特任専門員

【研究・研修活動】

〔発表〕伊能図の種類と彩色材料の関係性について―ゼンリンミュージアムと山口県文書館が所蔵する伊能図を対象として―(島津美子氏(国立歴史民俗博物館)との共同発表、文化財保存修復学会第四回大会、二〇二二年六月)

〔研修〕画法書研究会(二〇二三年三月)

〔所内プロジェクト〕画像解析センタープロジェクト「荘園絵図グループ」・「長篠合戦図屏風プロジェクト」

〔科学研究費助成金による研究〕基盤研究(A)「伊能図の成立過程に関する学際的研究―忠敬没後二〇〇年目図学史の検証―」(研究代表者・平井松午(徳島大学) 研究協力者)

【所・学内業務】

〔模写業務〕「東京国立博物館所蔵長篠合戦図屏風」第六幅、第七幅、第八幅(色指定)／宇佐宮境内絵図、野仲郷絵図、善通寺絵図(トレース図修正)／二〇二三年度要覧和文表紙作成(図案制作)

〔史料探訪・調査〕菅浦与大浦下荘堺絵図調査(滋賀大学、二〇二二年一月)

【所・学内行政】

〔所内〕技術部運営委員会委員

谷 昭佳 史料保存技術室(写真担当) 技術専門職員

【研究・研修活動】

〔論文〕“Oil photography: A color-photographic technique, with no discoloration, unique to Japan in the nineteenth century”, *Colour Photography and Film: Sharing knowledge of analysis, preservation, conservation, migration of analogue and digital materials - 2022: Conference Proceedings* (peer-reviewed journal), 2nd edition, Gruppo del Colore Associazione Italiana Color publisher, pp58-63, 20232. DOI:10.23738/R/CASB.008 / 長崎本石灰町

乙名・本山家伝来古写真史料の概要」『長崎学』長崎市長崎学研究所紀要第七号、六六―九三頁、長崎市、二〇二三年三月三十一日

〔講演・口頭報告等〕「海外所在日本関係古写真史料の調査研究の概要―在イタリア、在オランダを中心に―」(東京大学史料編纂所附属画像史料解析セ

ンター・東京大学史料編纂所古写真研究プロジェクト・JSPS科研費(JP19K00934) 共催『国際研究会「海外所在日本関係古写真の史料学研究」』、東京大学史料編纂所演習室及びオンライン、二〇二三年三月七日)／「幕末明治期を中心とする古写真の史料学的研究―もの」「たぐ」とき」

による検証」(長崎大学地域文化研究会主催、長崎大学附属図書館中央図書館、二〇二三年三月三日)／オーストリアハンガリー帝国東アジア遠征隊

古写真資料集の編纂」(第七回東アジア歴史資料編纂機関協議会主催『東アジア歴史資料編纂の伝統と現代化』、大韓民国国史編纂委員会、オンライン開催、二〇二二年一月一日)／「文化財写真の実状(歴史史料)」(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所主催『令和四年度文化財担当者専門

研究「文化財写真課程」、奈良文化財研究所本庁舎、二〇二二年一月二二日)／“Oil photography: A color-photographic technique, with no discoloration, unique to Japan in the nineteenth century” (2nd Conference on Colour Photography and Film: Sharing knowledge of analysis, preservation, conservation, migration of analogue and digital materials (peer reviewed),

Gruppo del Colore - Associazione Italiana Colore, CNR Area, Via Madonna del piano 10, 50019 Sesto Fiorentino - F Building - Toraldo Auditorium, Florence, Italy, 15/09/2022.

【報告等】「オーストリアハンガリー帝国東アジア遠征隊古写真資料集の編纂」『東アジア歴史資料編纂の伝統と現代化―予稿集』大韓民国国史編纂委員会、三三〇―三三六頁、二〇二二年一月

【科学研究費補助金による研究】基盤研究(C)「高精細デジタル画像解析による幕末明治初期ガラス原板写真の史料学研究」(JP19K00934) (研究代表者

谷昭佳)

〔画像史料解析センタープロジェクト〕古写真研究プロジェクト(代表者箱石大) 研究分担者／荘園絵図プロジェクト(代表者榎原雅治) 研究分担者／

本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト(代表者井上聡) 研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「吉野修験関係史料の調査」(代表者服部光真) 共同研究者

〔国内研修〕「五〇年前の沖縄展と鎌倉芳太郎写真の今」展記念講演会参加
〔沖縄県立芸術大学附属図書館・芸術資料館主催、首里当蔵キャンパス大講
義室、二〇二二年一〇月二九日〕

【所・学内業務】

〔史料撮影・デジタル画像処理他〕岩倉具視関係史料／土御門文書／木村芥
舟関係古写真資料／朝鮮征伐絵屏風／家光公秀忠公御成之御作事絵図／上井
覚兼日記／伊勢守日記／舊記雑録／その他

〔海外出張・史料探訪〕文明博物館、軍事地理研究所（イタリア、ローマ・
フィレンツェ、二〇二三年九月）

〔国内出張・史料探訪〕国立民族学博物館（大阪府、二〇二三年五月）／京都
国立博物館文化財修理所（京都府、二〇二二年七月・八月・二〇二三年一月）
／鍋島報効会徴古館、九州産業大学（佐賀県・福岡県、二〇二二年六月）／
泉涌寺（京都府、二〇二二年六月）／（株）修美本社工房・有限会社スタジオ
ホリゾン（京都府、二〇二二年六月・七月・八月）／海の見える杜美術館（広
島県、二〇二二年八月・二月・二〇二三年三月）／沖縄県立芸術大学（沖縄
県、二〇二二年八月・一〇月）／横浜開港資料館（二〇二二年一〇月）／米沢市
上杉博物館（山形県、二〇二二年一〇月・二〇二三年三月）／熊本県立美術
館（二〇二二年一月）／慶應義塾大学三田メディアセンター（二〇二二年
一〇月）／郡山市立美術館（福島県、二〇二二年二月）／長崎大学附属図書
館（二〇二三年三月）／その他

【所・学内行政】

〔所内〕技術部運営委員会／環境安全委員会／図書運営委員会

【学外活動】

〔教育〕日本大学芸術学研究科映像芸術専攻非常勤講師（映像作品特殊研究
Ⅱ講座担当）／日本大学芸術学部写真学科非常勤講師（写真表現研究Ⅳ「文
化財写真」講座担当）

〔委員〕沖縄県立芸術大学「令和四年度鎌倉芳太郎撮影ガラス乾板（重要文
化財）修理検討委員会」委員／長崎大学附属図書館「登録有形文化財ポ
ードイン収集紙焼付写真修理検討会」委員／公益社団法人日本写真家協会「日本
写真保存センター諮問・調査委員会」委員

高島晶彦 史料保存技術室（修復担当） 技術専門職員

【研究活動】

〔論文等〕（共著）渋谷・天野編『古文書の科学 料紙を複眼的に分析する』
「第一部 古文書研究からの視点」一五～五九頁「第二部 繊維をさぐる」
九七～一〇四頁

〔研究〕科学研究費補助金 基盤研究(A)「『国際古文書料紙学』の確立」研究
代表渋谷綾子 研究分担者／史料編纂所共同利用・共同研究拠点一般共同研
究「多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクションと近世和紙との比較
研究」所内共同研究者／史料編纂所共同利用・共同研究拠点一般共同研究
「中近世古文書の料紙に関する総合的科学研究」所内共同研究者／史料編纂
所共同利用・共同研究拠点一般共同研究「松尾大社所蔵史料の研究資源化」
所内共同研究者／史料編纂所共同利用・共同研究拠点一般共同研究「国宝菅
浦現文書と関連史料の伝来形態と料紙に関する研究」所内共同研究者／「『原
本史料情報解析』の方法による南九州関係文書の保全と研究」プロジェクト
研究メンバー／令和四年度加速器科学総合育成事業加速器科学育成プログラ
ム（高エネルギー加速器研究機構・KEK）研究代表

〔研究調査〕島津家文書（歴代亀鑑・宝鑑 修理調査（本所） 二〇二二年六月
／名古屋市蓬左文庫所蔵銅人臉穴鍼灸図経（拓本）調査 二〇二二年八月
上智大学キリシタン文庫所蔵資料調査 二〇二二年八月／高エネルギー加速
器研究機構・KEK加速器科学総合育成事業に係る調査（和紙の）FTIR
調査 二〇二二年九月・十一月／京都松尾大社所蔵文書調査 二〇二二年九
月／東京国立博物館所蔵百田紙・杉原紙（明治期・現物資料）調査 二〇二
二年九月／和歌山県小川八幡神社所蔵大般若経調査 二〇二二年九月・二〇
二三年三月／金沢・富山文化財保存修復関連調査（和紙・KEK事業）二〇
二二年一〇・一一月／滋賀大学経済学部史料館所蔵菅浦文書調査 二〇二二
年一二月／奈良天理市奈良歴史芸術文化村（料紙復元実験・KEK事業）二
〇二三年一月／島津家文書（女房奉書・宣旨）料紙調査（本所・共同研究）
二〇二三年一・二月／前田育徳会所蔵百工比照（紙類）調査 二〇二二年一
二月・二〇二三年二月／島津家文書（老中奉書）料紙調査（本所・共同研

究) 二〇二三年三月／兵庫県多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクション調査 二〇二三年三月

〔その他〕 東京大学経済学部資料室教養学部講座・資料の取り扱いと修理に関する指導／慶応義塾大学メディアセンター所蔵絵図根本修理／武蔵野市江戸氏牛込氏文書料紙調査報告書作成／熊本大学永青文庫センター保管「寛永十七年公儀御書案文」一冊錯簡綴じ直し(出張)／東京大学文学部国文学研究室所蔵資料修理に係る助言・指導／千秋文庫所蔵資料修理に係る助言・指導／蔣州咨文・明国劄付修理会議

【所内業務】 本所所蔵文書等の修復(詳細は史料保存技術室の「修理」を参照)／本所所蔵文書出陳に係る点検および立ち合い

【全学行政】

技術職員連絡会議構成員／総合技術本部企画調整室構成員／技術職員高度化検討タスクフォース構成員

【所内行政】

技術部運営委員会委員(幹事代行)

【学外活動】

〔教育〕 上智大学文学部史学科非常勤講師／京都芸術大学通信教育部芸術学部歴史遺産コース非常勤講師

山口悟史 史料保存技術室(修復担当) 技術専門職員

【研究・研修活動】

〔論文〕 山口悟史・高橋敏子「被災固着資料の開披方法試論—宇波西神社文書を題材にして—」(『画像史料解析センター通信』第九七号、二〇二二年七月)〔口頭発表等〕 「史料の取り扱いと補修法」(二〇二二年度東洋文化研究所漢籍整理長期研修、二〇二二年六月)／「和本をつくらう!—四ツ目綴じ・こより綴じを学ぶ—」(武蔵野ふるさと歴史館令和四年度第三回企画展「江戸氏牛込氏文書」中世史研究のまなざし)／「関連企画、二〇二二年一月」／「地域資料をなおすまもるつたえる」(武蔵野ふるさと歴史館令和四年度第三回企画展「江戸氏牛込氏文書」中世史研究のまなざし)／「関連講演会、二〇二二年一月」／「FTIRを用いた料紙の分析結果報告」(公開研究会

「茂木文書と科学の出会い」、二〇二三年三月)

〔研究〕 「『原本史料情報解析』の方法による南九州関係文書の保全と研究」(研究代表者本郷恵子) プロジェクトメンバー／令和四年度加速器科学総合育成事業「和紙を科学する」(研究代表者高島晶彦) 研究分担者／科学研究補助金挑戦的研究(開拓)「ポルト南蛮屏風の総合的研究による新領域の開拓」(研究代表者関口博巨) 研究協力者／人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」(事業代表者三上喜考) 国立歴史民俗博物館拠点メンバー

〔研修〕 文化財修復処置に関するワークショップ「ナノセルロースの利用について」(東京文化財研究所、二〇二二年一〇月)／第二六回国宝修理装演師連盟定期研修会(奈良県文化会館、二〇二二年一月)／古糊炊き(株式会社半田九清堂、二〇二三年一月)

【所・学内業務】

〔史料修補修復〕 園城寺文書／織田信雄禁制／織田信長朱印状／戸村文書／福田文書／正伝寺関係文書／名古屋温故会絵葉書帖／長谷川守知宛徳川秀忠領地朱印状／湯原文書／陽明文庫「僧綱補任下」／土御門文書／宇波西神社文書／松尾大社文書／伊達但馬文書／朝鮮国両王子并三臣誓約書(模写)／源頼朝下知状／織田信長画像(模写)／蜷川新右衛門親元自筆書状／慶應義塾図書館所蔵「山城国上野荘坪付図」／高田屋嘉兵衛関係資料／東寺再興勸進文／徳大寺公清公記／応仁大乱／湖北五ヶ村文書／拓本／往復／言経卿記／東宮元服御膳図／普賢延命／正倉院御物／近衛家所領目録(影写本)／東山天皇御即位図(模写本)／上野下司判形新券

〔紙質調査〕 兵庫県多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクション(出張・調査) 兵庫博物館(実隆公記撤収作業、二〇二二年五月)／高エネルギー加速器研究機構(二〇二二年五月・九月・十一月・二〇二三年一月)／石川県文化財修復工房・東中江和紙加工生産組合・まいぶんKAN(二〇二二年一〇月・十一月)／なら歴史芸術文化村(二〇二三年一月)／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館(実隆公記展示・撤収作業、二〇二三年二月・三月)〔状態確認〕 島津家文書・実隆公記

【所・学内行政】

〔所内〕 技術部運営委員会

【学外活動】

〔教育等〕 鶴見大学文学部非常勤講師／神奈川大学日本常民文化研究所古文書修復講座講師／神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員

〔その他〕 川崎市市民ミュージアム水損所蔵品応急処置活動

高山さやか 史料保存技術室（写真担当） 技術専門職員

【研究・研修活動】

〔報告〕 「写真室撮影スタジオの紹介」『画像史料解析センター通信九九号』

〔画像史料解析センター、一四〇一五頁、二〇二三年一月〕

〔研修〕 Color Photography and Film, 2nd edition, GRUPPO DEL COLORE ASSOCIAZIONE ITALIANA COLORE（二〇二二年九月・オンライン）／米沢市上杉博物館・特別展「上杉家伝来写真く華麗なる人脈、米沢との絆」（二〇二二年一月・山形県）

〔画像史料解析センタープロジェクト〕 荘園絵図プロジェクト（代表榎原雅治） 研究分担者／本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト（代表井上聡） 研究分担者／「古写真研究プロジェクト」（代表箱石大） 研究分担者

【所・学内業務】

〔国内出張・史料探訪〕 株式会社修美（二〇二二年七月・京都府）／醍醐寺（二〇二二年九月・京都府）／横浜開港資料館（二〇二二年一月・神奈川県）／賀茂別雷神社（二〇二三年三月・京都府）

〔史料撮影・現像・プリント・スキャニング・デジタル画像処理・その他〕 御文書／東鑑／舊記雑録／徳川将軍江戸藩邸御成記録抜書／家光公秀忠公御成之御作事絵図／上井覚兼日記／三島通庸履歴／松永久秀書状／他家文書／長谷川守知宛徳川秀忠領地朱印状／筑紫家々記／平田国学者医師大武秀斎関係文書／広橋綱光画像／京都古図／三上参次関係史料／濃州可児郡帷子郷石原村御縄打水帳／本所所蔵台紙付写真／伊東文書／徳川家康等五大老花押状／その他デジタル探訪データ処理

【所・学内行政】

〔所内〕 技術部運営委員会／デジタル撮影等に関する課題検討グループ

桑田恵里 史料保存技術室（写真担当） 一般技術職員

【研究・研修活動】

〔画像史料解析センタープロジェクト〕 古写真研究プロジェクト（代表者箱石大） 研究分担者／本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト（代表者井上聡） 研究分担者

〔国内研修〕

横浜開港資料館・特別展「幻の写真家 チャールズ・ウィード 知られざる幕末日本の風景」（二〇二二年一〇月）／米沢市上杉博物館・特別展「上杉家伝来写真く華麗なる人脈、米沢との絆」（二〇二二年一月・山形県）／日本写真芸術学会・第2回写真史研究会「幕末日本を記録した幻の写真家チャールズ・ウィード」（二〇二三年三月）

【所・学内業務】

〔史料撮影・デジタル画像処理他〕 岩倉具視関係史料／木村芥舟関係古写真資料／御文書／伊勢守日記／家光公秀忠公御成之御作事絵図／朝鮮征伐絵屏風／正院記録課書目／修史局以来残留書類目録／山城国上野庄差図／僧綱補任／恵日寺絵図／三聖寺伽藍図／今宮神社境内図／京都古図／前坊家文書／その他

〔国内出張・史料探訪〕 株式会社修美本社工房・有限会社スタジオホリゾン（京都府、二〇二二年七月・八月）／海の見える杜美術館（広島県、二〇二二年八月・二月・二〇二三年三月）／横浜開港資料館（二〇二二年一〇月）／米沢市上杉博物館（山形県、二〇二二年一月・二〇二三年三月）／慶應義塾大学三田メディアセンター（二〇二二年二月）／賀茂別雷神社（二〇二三年三月・京都府）